

ゆっつら～と、佐賀市

【発行・お問い合わせ先】
一般社団法人
佐賀市観光協会
www.sagabai.com

佐賀市観光協会のフェイスブックページ
最新情報を随時公開しています!
佐賀市観光協会 FB 検索

■佐賀市観光交流プラザ
営業：10:00～18:30(火曜日のみ19:00まで)
定休：土・祝日・年末年始
TEL：0952-20-2200
FAX：0952-28-5656
E-mail：info@sagabai.com

■佐賀市観光案内所(JR佐賀駅構内)
営業：8:30～18:00(土日祝17:00まで)
定休：年末年始(12/31～1/3)
TEL/FAX：0952-23-3975

※本パンフレットは観光的見地から作成したものです。

禁 無断複写(コピー)、転載

佐賀の12賢人 歴史散策お楽しみ帳

■あなたはどのタイプ？佐賀12賢人判定
■ドラマチック！愛憎相関図で知る幕末維新の9人
■お手軽新モデルルート12＆賢人スポット57
■賢人が愛したあの味…賢人グルメ

お城下・佐賀へようこそ！





















Sagacityとは賢人の都であった

sagacity
［音節］sa・gac・i・ty
【名詞】【不可算名詞】
賢明な，利口な
［SAGACIOUS+-ITY］

皆さんはご存じだろうか？
Sagacityには英語で「佐賀市」と共に、
「賢明な」「利口な」などの意味があることを。
これを単なる偶然と思う方も少なくないだろう。
しかし事実、この街の過去には多くの賢人たちの姿があり、
今でも、いたる所にその軌跡を見て取ることができる。
本誌では、その中でも、特に多くの偉業を後世に残した
12の賢人にスポットを当て、その生きざまや、人間的魅力に迫る。
自らを貫き、時代を熱く走り抜けた12の人生は、
混迷する現代に、多くの事を教えてくれることだろう。
皆さんもお気に入りの一人をSAGACITYみてはいかがだろうか？

P6 徐福 不老不死を求めて【紀元前3世紀頃】
P8 成富兵庫茂安 戦国の名将から治水家へ【一五六〇～一六三四】
P10 売茶翁 高遊外 煎茶道の祖【一六七五～一七六三】
P14 鍋島直正 幕末屈指の名君【一八一四～一八七一】
P16 枝吉神陽 佐賀の「吉田松陰」【一八三二～一八六二】
P18 島義勇 北海道開拓の父【一八二二～一八七四】
P20 佐野常民 日本赤十字創設者【一八二二～一九〇二】
P22 副島種臣 正義の外務卿【一八二八～一九〇五】
P24 大木喬任 東京遷都を進言【一八三二～一八九九】
P26 江藤新平 近代司法の父【一八三四～一八七四】
P28 相良知安 近代医学の功績者【一八三六～一九〇六】
P30 大隈重信 二度の総理大臣【一八三八～一九二二】

特別編集

あなたはどんなキャラ？ 佐賀12賢人判定

個性も違えば、持ち味も違う。
彼らが残した様々なエピソードから人物像を探ってみたよ。
自分にぴったりのキャラが見つかったら「誰この人？」なんてもう言わせない（笑）

あなたのことを教えてね!!

START!
頭をつかうことと、身体を動かすこと、どちらが好き？
- 頭を使って、じっくり考えることが好き
- 身体を動かすのが好き

売られた喧嘩は？
- 買う
- いや、わりと耐える
- そもそも気がつかない

心は熱く、頭は冷静に。でも時には？
- つい熱くなりすぎ
- ついクールになりすぎ

説得するには？
- なるべく理論的に説明したい
- 感情に訴える部分もおおいにある

要領はいい？
- はい。結構ちゃっかりしてます
- いいえ。どちらかと言うと不器用です
- わからない。もともと「要領」などとは無縁だから

時々俗世間から離れたいと思う？
- 思うこともある
- あまり思わない。逃避願望はない。または少ない

新しいことをするにあたり心構えはどっち？
- 失敗してもいい。なぜならその失敗から必ず学ぶことがあるから
- 大切なのは成功のイメージを持つこと。じゃないと、冒険はできない

期待されると燃えるタイプ？
- はい。わりと燃える
- 自分のやる気に「期待される」「期待されない」は関係がない

人つきあいにおいては？
- わりといじられキャラ
- 得意分野では一目おかれることも。神秘的とも

そんなあなたは **戦闘キャラ C**
そんなあなたは **地味キャラ D**
そんなあなたは **お利口キャラ F**
そんなあなたは **KY キャラ A**
そんなあなたは **泣き虫キャラ B**
そんなあなたは **コツコツキャラ E**
そんなあなたは **ちゃっかりキャラ I**
そんなあなたは **冒険キャラ J**
そんなあなたは **いじられキャラ K**
そんなあなたは **唐津腕キャラ G**
そんなあなたは **カリスマキャラ H**
そんなあなたは **不器用キャラ L**

A 江藤新平



怒るのは二日たってから!?

弘道館にいた頃、悪友に何かいたずらされても気がつかない。ひどいことをされると2日程経ってから怒ったなど逸話が。明治国家の法律の仕組みをほぼ一人で構築した明晰で精緻な論理性が持ち味。議論は無敵だった。

→P26

B 佐野常民



泣き虫、世にはばかる

常人より情がもろく、よく泣いた。田中からくり儀右衛門が佐賀に来てくれたのも涙を流して懇願したから。傷ついた敵を看病するのは当然と、日本赤十字社を創設。これでは喧嘩しようにも気がそがれる（笑）。

→P20

C 相良知安



型破りの勇気で国を導く

並みいる明治新政府の重鎮の前で現場の責任者として堂々と反対意見を述べた。その結果、明治の日本医学は、イギリス医学を手本にすることがほぼ決まっていたが、ドイツ医学に大転換できた。その舌鋒の鋭さと喧嘩腰を殿様がたしなめたことも。

→P28

D 大木喬任



明治新国家の「良識」

若い頃は弘道館指折りの武闘派だったが、教育と良質の仲間に恵まれ思慮深い人格へと陶冶された。人を大切にする思いの深さを秘めつつ、教育制度確立に向けて黙々と実務を執った。クールで実践力抜群の啓蒙家。

→P24

E 鍋島直正



幕末明治屈指の名君主

17歳の春。藩主に就任して佐賀へ赴く時に江戸・品川で大名行列が借金取りに足止めを食らった。この時の屈辱をバネに、困難な藩政改革・経世済民に生涯を捧げた「くじけない男」。幕末・明治の日本屈指の名君主。

→P14

F 副島種臣



政府の重職から書の道に

博覧強記。特に古事に明るく、明治の国家そのものの仕組みの方向性を定めた。外務卿など政府の重職を歴任するが明治６年の政変で下野。多くの同輩・後輩達から復帰を渇望されたが、清（中国）に外遊。書の世界に傾倒した。

→P22

G 成富兵庫茂安



戦国一の曲者（くせもの）

わずか11歳で戦場に赴いてからは、類まれな武勇で名を轟かせた。平和な世になると今度は人心を惹きつける治世家として凄腕を見せた。主君や周囲から、ここ一番に頼りになり、必ず結果を出す男として重宝がられた「戦国一の曲者（くせもの）」。

→P8

H 枝吉神陽



義祭同盟のカリスマリーダー

豪放磊落で、精神が強く、頭の出来はズバ抜けていい。義祭同盟の提唱者で志士たちの師匠的存在だったが、頭でっかちではなく、富士山を下駄履きで登ったといわれる「体育会系」。直正に「蘭学」を勧められたが突っぱねた信念の男。

→P16

I 大隈重信



愛すべき「ちゃっかり」精神

明治・大正きっての傑物。気宇が大きく、清濁併せ呑む人間的魅力を湛える。午前は断酒会で酒の害を説き、午後には酒造組合で「酒は百薬の長」と演説をぶったなど楽しい逸話が多い。大ホラ吹きでなかったことは数多くの偉業が証明してる。

→P30

J 徐福



気力と体力と勇気の人

一説によると、秦の始皇帝を手玉にとって、新しい国の王になるために日本に渡ってきたとも。真偽はともかく、並はずれた勇気と冒険心、気力と体力の持ち主でなかったら、3,000人のリーダーとして海外移住を成功に導けないであろう。

→P6

K 島義勇



情熱たぎる「ぬけた」人

幼い明治天皇に手加減せずに腕相撲で負かしたり、身を心配するあまり走って近寄り、建物に激突して血だらけになっても気づかなかったり。佐賀の役を抑止する役目なのに、佐賀人の悪口を聞いて大喧嘩して逆に佐賀側に立つなど、愉快な逸話が多い。

→P18

L 売茶翁



不器用転じて尊敬されて

お茶のお店を構えたが宣伝文句が難解すぎて、庶民がめったに立ち寄らなかった。仕方ないので、お茶道具を持って行楽地を巡回したが、その奇抜さが受けて京都の有名人になり風流人から慕われた。何か途方もなく「深い」人と思われていた。

→P10

自分の勉強や仕事分野からも、守り神にピッタリの賢人が見つかるよ

次のページから各賢人の紹介がはじまるよ。それぞれの賢人イラストの隣には賢人の学問・専攻分野が記されているから、気になるジャンルが見つかったら、賢人バッジ（P33）などをお守り代わりにゲットしても！

※本文中に出て来る日付は、日本で新暦が導入される1872年（明治5年）12月以前のものは旧暦のものとなっています。
また、年齢は当時の慣習に従い、数え歳（生まれた年を1歳とし、以降元旦を迎えるごとに1歳ずつ加わる）での表記としています。

徐福（じょふく）

不老不死を求めた浪漫の旅人。平原広沢を得、王となり帰らず。



Jo-Fuku

《人物像》
- 博学で神秘性を持つ研究者
- 冒険者であり開拓者
- トップに取り入るしたたかさ

佐賀に伝わる古代ミステリー

今から約2200年前、史上初の中国統一を果たし、あらゆる権力と富を手にした秦の始皇帝。絶対の権力者の彼でさえままならなかったのが、「老い」と「死」だった。徐福はその始皇帝に仕える方士で、呪術、祈祷、医薬、占星術、天文学に通じた学者。実は始皇帝に滅ぼされた斉の国の皇太子だったが、その頭脳を見込まれて仕えていた。

司馬遷が書いた中国の歴史書「史記」によると、徐福は「東方の三神山に不老不死の霊薬がある」と進言し、始皇帝の命を受け、3,000人の童男童女と多くの技術者を従え、五穀の種を持って、東方に船出し、「平原広沢（広い平野と湿地）」を得て、王となり戻らなかったと記されている。

この徐福の渡来伝説は日本各地に伝えられているが、特に佐賀には数多くの伝承が残されており、昔から「徐福さん」と呼ばれ親しまれている。それが事実か、単なる伝説なのか、確証を得るものはないが、現代の人々に遥かな古代ロマンを与えてくれることは確かだ。

【概略年表】

		数え齢	
BC.278	縄文時代	1	誕生
BC.259		20	始皇帝誕生
BC.221		58	斉の国が滅亡し、秦の始皇帝が即位
BC.219		60	不老不死の仙薬を求め、蓬莱・方丈・瀛洲の三神山に向けて旅立つも、見つからず
BC.212	〃	67	始皇帝に「蓬莱に行けば仙薬が手に入るが大鮫に邪魔されたどり着けない」と報告
BC.210		69	童男童女3,000人と技術者、五穀や数々の道具を船に乗せて大船団で再び出航 始皇帝崩御
BC.208	弥生時代	71	徐福死去。2月8日のことだったとされる

※徐福の生没年などは諸説あり



▲吉野ヶ里遺跡（神埼町）。その成り立ちには徐福も関わったと考えられる

あなたにとって徐福とは？

私たちの故郷の開拓者



NPO法人佐賀県徐福会 理事長
澤野 隆 さん

徐福は弥生時代前期、100人の技術者と3,000人の男女を連れて渡来しました。ここから日本では、稲作を中心とした弥生文化が始まったと推測されます。彼は広大な佐賀平野に水田を広げ、工業、医学、天文学等、様々な当時のハイテク技術を持ち込みました。その活動が私たちの住む故郷佐賀、さらに現代日本の基礎を築いたかと思うと、果てしないロマンを感じます。私たちは佐賀県徐福会の活動を通じて、そんな徐福伝説を皆さんにお伝えできれば嬉しいです。

徐福を知る入門の一冊

「佐賀に息づく徐福」

先代の佐賀県徐福会会長である村岡央麻執筆の本で、佐賀と徐福の繋がりについて詳しく解説されている。徐福長寿館などで販売中。

村岡央麻 著／500円／全60ページ
お問い合わせは佐賀県徐福会事務局まで。
TEL 0952-28-6260





▲不老不死の仙薬をついに発見したのは金立山の山中だったと伝えられる。連雲港市から送られた徐福像で、金立山を背景に立つ表情もなんとなくどや顔（笑）



▲2011年11月、徐福が日本へ出航したという、中国の慈渓市から贈られた新たな徐福像。立つのは上陸地近くの「橋の駅ドロンパ（旧もろどみ一番館）」付近で、後ろに見えるのは筑後川昇開橋。実は左の写真の金立山前の徐福像とは視線が向かい合っており、片や上陸地、片や目的の仙薬発見の地で、互いに日本で歩んだ旅路を見守っている

徐福が追い求めた薬 フロフキは不老不死？

仙薬を探す徐福が金立（きんりゅう）山で出会ったのは謎の仙人。徐福が仙薬の場所を訪ねると、仙人はゆがいている釜の中を見せ、霧のように消えてしまった。その釜の中にあったものこそ、徐福が求めてた仙薬で、「フロフキ」という薬草だった。フロフキは、今も自生しており、土地の人々は煎じて飲めば腹痛や頭痛に効果があると言う。



▲自生するフロフキ。徐福長寿館で実物を見ることができる。同じ科のサイシンは実際に漢方薬として利用されている

悲劇のもとは聞き違い お辰との悲しい恋の物語

お辰は金立の地で徐福と恋仲になった娘。徐福が一時この地を離れる時、「5年後に戻る」との伝言があやまって「50年後」と伝わってしまったため、お辰は悲しみのあまり亡くなってしまう。これは中国、日本を含めて唯一伝わる徐福の悲しい恋の物語でもある。



▲お辰観音堂の「おたつ御守」。恋愛成就にご利益あり



▲「お下り」では金立神社から徐福上陸地まで、徐福が辿った約20kmの道のりを逆に下って行く。写真は前回の昭和55年4月に行われた例大祭の様子（「佐賀に息づく徐福」所載）

チャンスは一生に二度 50年に一度の幻の行列

徐福を祀る金立神社には、何と50年に1度開催される例大祭がある。同時に神輿を担いで、徐福が上陸地から金立山まで辿った道を逆に下る「お下り神事」も開催。次の開催は2030年。一生に一度か二度の貴重な機会だ。

問 金立神社☎0952-98-1409

伝説は本当だった！ 発見された徐福の故郷

佐賀ではもう何百年も前から、数々の徐福文化が脈々と受け継がれているが、本場中国では徐福は長い間伝説上の人物だった。しかし1981年、江蘇省において徐福が住んでいたと伝わる徐阜村（徐福村）が発見され、その存在が認められた。近年、中国では、徐福ドラマが企画されるなど、にわかに徐福ブームが巻き起こっている。

はみだし情報

国鉄佐賀線の線路跡を利用して作られた徐福サイクルロード。春は桜の名所で、爽やかな並木道が一直線に続き、徐福が金立山へ向けて歩いた道を追体験できる



▲「金立神社画図縁起」（金立神社蔵 佐賀県立博物館寄託）画面は絹布3枚継ぎで、上段は金立神社上宮、中段は金立神社下宮、下段は徐福上陸の場となっている。かつて天皇や鍋島家も参拝したという由緒ある金立神社の姿を伝える貴重な資料



▶徐福を祀る金立神社上宮の拝殿裏に立つ「湧出御宝石」。これは巨石を神聖視する中国の神仙思想に通じるものがある。また石造りの拝殿は徐福が連れて来た石工の手によるものとも伝わる

《時間があれば徐福ゆかりの温泉も！》

古湯温泉 地図→P34 A-2

金立山の西にある古湯温泉は湯の神のお告げに導かれて、徐福が見つけたと伝えられている。泉質はアルカリ性単純温泉で美人の湯「ぬる湯」として評判が高い。徐福巡りの旅の宿に最適。

問 佐賀市富士支所☎0952-58-2111



徐福足跡探訪コース【約2時間】（移動約65分＋観光散策約55分）

モデルコース　上陸の地から、仙薬を見つけたという金立山までの道程をたどる



徐福上陸地（浮盃） 地図→P34 C-5

徐福上陸の伝説の地で、現在は神社として拝殿や掲示板等が整備されている。ここから徐福巡りの旅をスタート！

住 佐賀市諸富町大字寺井津15隣

車で約5分



新北（にきた）神社 地図→P34 C-5

境内のビャクシンは徐福が上陸の記念に、中国から持ってきた種を植えたものと伝えられ、貫禄ある姿を拝むことができる。

住 佐賀市諸富町大字為重1073

車で約40分



お辰観音 地図→P34 B-3

徐福との悲恋の末に亡くなったお辰を偲ぶ観音像。お辰が「自分のようにはさせない」と、縁を結んでくれる。

住 佐賀市金立町千布3055-3付近

車で約10分

金立I.Cの駐車場からも入館可能



徐福長寿館 地図→P34 C-3

日本唯一の徐福の公的資料館。佐賀の徐福伝説発信の中心施設で、徐福や薬草に関する様々な情報はここで得られる。

住 佐賀市金立町大字金立1197-166
開 9:00～17:00
休 月曜 祝日の翌日 年末年始
料 大人300円 小中学生150円
問 ☎0952-98-0696

車で約10分



金立神社（上宮） 地図→P34 B-2

金立山頂上にある、徐福を祀る神社。天皇も参拝した由緒ある神社で、その徳を感じつつ、徐福が開拓した佐賀平野を見渡そう。

住 佐賀市金立町大字金立3415
問 金立神社下宮
☎0952-98-1409

成富兵庫茂安

なりどみ ひょうごしげやす

武将からグランドデザイナー。民のため、時代を越えた「いい仕事」。



Naridomi Shigeyasu

《人物像》
- 忠義に厚い武士魂
- 臨機応変な知略家
- 上司からも部下からも慕われる人格者

武将から治水家へ鮮やかな転身

肥前国を治めていた龍造寺氏の家臣である成富信種の次男として生まれる。11歳で主君の龍造寺隆信の小姓として仕えるようになり、17歳で初陣。以降、幾多の戦いで武功を上げ、豊臣秀吉の朝鮮出兵では鍋島直茂から全権を任されて活躍。またその知略ぶりから多くの逸話を残し、佐賀藩に古くから伝わる武士道書「葉隠」にも多くのエピソードが残されている。

戦国の世が終わると藩内の禄高を上げるため、幾多の水利施設の整備を行う。その実施前には実際に模型を作って緻密な実験をしたと言われる。工事には地元の農民を作業に当たらせたが、農繁期には作業をさせないなど、その気遣いぶりで領民から親しまれた。

茂安が各地に作った水利システムは複雑に組み合わさっており、どこかで不具合が生じるとシステム全体に影響が出るため、それに手を掛けることはタブーとされ、江戸期を通じて領内では水争いや百姓一揆がほとんど起こらなかったという奇跡のもととともなった。

茂安自身は1634年、75歳でその生涯を閉じるが、彼の水利システムは今でも現役で佐賀平野を日本有数の穀倉地帯にならしめ、稲田を潤している。

【概略年表】数え齢

1560	永禄3年	1	誕生。幼名千代法師丸、のちに新九郎と名乗る
1570	元亀元年	11	今山の陣。隆信の小姓として仕えるようになる
1576	天正4年	17	藤津郡横造城攻めに従軍し初陣を飾る
1580	天正8年	21	筑後生駒城攻め。十の武功を上げ十右衛門賢種と改名
1589	天正17年	30	天草騒動平定に加勢。加藤清正と出会う
1592	文禄元年	33	文禄の役。龍造寺家の名代、鍋島直茂のもと朝鮮に出兵
1597	慶長2年	38	慶長の役。鍋島勝茂（直茂の子）を助け朝鮮に出兵
1600	慶長5年	41	関ヶ原の戦い。鍋島軍は西軍。伏見城などを攻める
1615	元和元年	56	この頃から各所の水利工事を始める 筑後川の千栗の土居（みやき町） 脊振山の蛤水道（吉野ヶ里町） 嘉瀬川の石井樋（佐賀市大和町）…等
1634	寛永11年	75	9月18日、死去



◀この佐賀平野の恵みも茂安の幾多の水利工事の賜物。写真上中央から左下に延びる川が、佐賀城下に水を供給した多布施川（画像提供：筑後川河川事務所）

あなたにとって成富兵庫茂安とは？

何事にも一所懸命な武人



さが水ものがたり館 初代館長
金子 信二 さん

佐賀では水利の神様として有名な成富兵庫茂安ですが、実は武人としても多くの武功を挙げた人なんです。戦国から平和な世の中になり、実際に水利事業の任についたのは50歳を過ぎた頃。時代に応じて主君のため、藩のため、今、自分のなすべきことに一所懸命に取り組んだ姿に魅かれますね。そのため多くの武将や部下からも慕われ、あの加藤清正からも一万石で誘われていましたが、「二君に仕えず」と主君への忠義を貫いた義の人でもあります。

成富兵庫を知る入門の一冊

「成富兵庫茂安
佐賀藩の初期を支えた男」

基礎史料である「成富家譜」からその生涯を、江戸後期に編纂された「疏導要書」から治水の功績を読み解き、様々なエピソードを紹介。
田中耕作 著／佐賀新聞社 刊／1575円（税込）





▲「錆色塗紺糸威仏二枚胴具足」（さびいろぬりこんいとおどしほとけにまいどうぐそく）
天草の戦いにおいて加藤清正に加勢したことから、清正より授けられた甲冑（鍋島報效会蔵）



「梨子地扇文蒔絵鐙」▶（なしじおうぎもんまきえあぶみ）
茂安愛用と伝わる馬のあぶみ（鍋島報效会蔵）

初陣はフライング（笑）父が救った命

若い頃の茂安は血気盛ん。11歳の時に若すぎると初陣の許可が出なかったため、独断で戦場で物見を行い、それが龍造寺隆信の目に留まり、以来小姓として使えるようになる。さらに18歳の時に博打にハマり父親の籾倉まで失ってしまう。いっそ殺してしまえという親族に対し、父信種は一年だけ待ってくれと茂安を徹底的に指導。その心に打たれた茂安は見事更生を果たすのだった。



▲嘉瀬川から佐賀城下へ水を取込む巨大取水施設「石井樋」
その完成により、洪水被害は減り、佐賀城下の水不足は解消された（画像提供：筑後川河川事務所）

戦国一の策士 普請場の陣取り合戦

大阪での普請（工事）を命じられた時のこと。作業するのに欲しい場所は既に他藩が押さえている。そこで夜中にその脇の川の中に杭を打ち込み、翌日に「3日前に杭を打って場所を確保しておいたが、水が増えて見えなくなってるようだ」とその杭を引き抜き、その場所を横取りしてしまったんだとか。茂安は戦国一の曲者（くせもの）との異名さえついた。

「眠るならそばに」。養子に来た藩主の息子に慕われる

茂安は藩主・鍋島勝茂から、その四男の直弘を養子として預けられた。これは成富家の後継ぎとしてではなく、武士として立派に育てて欲しいという思いから。藩主の子供を預けられることから、いかに茂安が信頼された人物だったかが分かる。直弘は後に鍋島家に復籍し白石鍋島家を興すが、その墓は直弘の遺言により、茂安と同じ本行寺に建てられている。父子だった期間は短いものの茂安と直弘の深い情愛が感じられる。



▶鍋島勝茂像（鍋島報效会蔵）
佐賀藩の初代藩主。龍造寺隆信の後、政家、高房の死去を受け、父の鍋島直茂が藩祖、勝茂が藩主となって、佐賀の地を治めた

佐賀県内には成富兵庫茂安の偉業をたたえ、佐賀市兵庫町や三養基郡北茂安町（現みやき町）など、その名前が地名になって残っている

▲「疏導要書」（そどうようしょ）
佐賀藩の南部長恒によって1834年に書かれたもので、藩内河川の水利状況や成富兵庫茂安の事績が細かく記されている。写真は石井樋の見取図
佐賀県立図書館で複写本の閲覧可能
（鍋島報效会蔵　佐賀県立図書館寄託）

ものしり坊主を取り込み政略のたすけにする

茂安が鍋島勝茂と共に江戸城に登城した際、湯をくれただけの坊主に茂安は独断で何と絹の反物十巻を送った。その後のアプローチもあり、その坊主は勝茂らの湯茶の接待など、厚く世話をするようになる。結果、坊主から城内の様々な情報が入るようになり、何事も都合よく運ぶようになったとか。



▲茂安の数々の逸話も収録された「葉隠」の写本
佐賀県立図書館で複写本の閲覧可能
（鍋島報效会蔵　佐賀県立図書館寄託）

《ちょっと足を延ばして》

蛤水道 地図→P34 D-1

夏場の田畑の水不足を解消するため蛤岳につくられた水路で、今も往時の姿を残す。その感謝の意を伝えるため、毎年5月に「兵庫まつり」が開催されている。

住 神埼郡吉野ヶ里町



▲手前右の溝は必要以上の水を仕分けるための「のこし」

成富兵庫茂安足跡探訪コース【約2時間】（移動約55分＋観光散策約65分）

モデルコース　生誕地から茂安三大事業の一つ、石井樋を経由し、墓地までその功績を辿る



成富兵庫茂安公誕生之地
地図→P34 B-3
佐賀市鍋島町増田の土手沿いに誕生400年を記念して建てられた顕彰の碑。
住 佐賀市鍋島町大字鍋島1397付近

車で約5分



石井樋公園・さが水ものがたり館
地図→P34 B-3
石井樋は茂安考案の大型取水施設で、彼の仕事を今に見ることができる貴重な遺構。関連の資料館も併設で、詳しく学べる。
住 佐賀市大和町大字尼寺3247
開 9:30～17:00
休 月曜（祝日の場合は翌日）12/29～1/3
料 無料 問 ☎0952-62-1277

車で約10分



築山公園
地図→P34 B-3
茂安は築山の南麓に住んでおり、築山頂上には、茂安夫妻等の石碑や追腹殉死者の墓石がある。
住 佐賀市大和町大字尼寺1363付近

車で約10分



葉隠発祥の地
地図→P34 B-3
武士のあるべき姿を様々な事例で記した「葉隠」。その口伝と執筆が行われた「朝陽軒」があった。林の中に碑だけが立つ。
住 佐賀市金立町大字金立1557付近

車で約30分



本行寺
地図→P35 F-8
茂安の遺言により、遺体は築山、遺髪は菩提寺である本行寺に埋葬された。昭和15年の墓地改葬の際、遺骨も本行寺に改葬されている。
住 佐賀市西田代1-4-6
問 ☎0952-24-1813

こうゆうがい　ばいさおう

高遊外 売茶翁

煎茶を浸透させた文化人。禅の真理を追い求めたその生き様。



Koyugai Baisaoh

《人物像》
- 老いてなお盛んな反骨精神
- 大勢に流されない芯の強さ
- 茶の世界を広げた風流人

煎茶で真理をわかち合った風流人

煎茶道の祖、高遊外売茶翁は延宝3年、佐賀蓮池支藩の藩医の三男として誕生。11歳で龍津寺に出家し僧名は月海。22歳で修行不足を恥じ江戸、仙台等各地へ出かけた。煎茶は長崎の中国僧から習ったとの説もある。また、隠元禅師が京都宇治に開いた、黄檗山（おうばくさん）萬福寺でも修業、中国伝来の文化に触れ、視野を広げた。晩年、龍津寺を弟弟子に託し再上洛。洛中に「通仙亭」という庵を構え、茶を売りながら禅や人の生き方を説いた。その姿に人々は親しみを込めて「売茶翁」と呼んだ。

通仙亭には文人墨客が集まり「売茶翁に一服接待されなければ一流の文人とは言えない」といわれ、伊藤若冲や池大雅などが集まり、若冲は売茶翁の肖像画も多数書き残している。漢文にも堪能で、漢詩や和歌を残し、書家としても超一級の人物であった。「煎茶道の祖」と言われるのは、中国伝来の煎茶に精神的な方向性を示したことから。高僧でありながらその位を捨て、布施も取らずの茶業は、当時の体制や宗教界のあり方への反発で、真実の禅を実践したものだと伝えられている。

【概略年表】

		数え歳	
1675	延宝３年	1	5月16日、柴山杢之進常名の三男として誕生。幼名菊泉
1686	貞享３年	12	佐賀市の龍津寺に出家、僧名月海
1687	貞享４年	13	黄檗山萬福寺第4代独湛禅師に面会を許される
1688	元禄元年	14	龍津寺に帰り学問・修行に励む
1696	元禄９年	22	体調を崩し、江戸・京都を経て仙台の萬寿寺月耕禅師のもとで修行
1707	宝永４年	33	長崎で煎茶の知識を吸収
1731	享保16年	57	龍津寺を法弟大潮にゆずり、志を果たすため上洛
1735	享保20年	61	東山に通仙亭を構え、禅を説きながら売茶の業を始める
1742	寛保２年	68	高遊外に改名
1763	宝暦13年	89	7月16日、京都で寂入



▲佐賀市の観光文化施設、肥前通仙亭では、売茶翁ゆかりの資料や茶道具を展示



▲肥前通仙亭の「煎茶体験セット」（500円）。他に石臼で抹茶をひいて飲めるサービスもある

あなたにとって売茶翁とは？



18世紀の京都文化に風穴を開けた革命家

NPO法人高遊外売茶翁顕彰会 代表
川本 喜美子 さん

売茶翁は煎茶道の祖と言われていますが、本人が名を残すことにこだわらず、悠々と生きられるはずの佐賀の地を出、僧侶の位も捨て、お布施も取らず、当時の文化の中心である京都でお茶を振る舞い、自分の信条を説いて回りました。厳しい身分制度の時代、決して権力、大勢には準じず、どこにも媚びることはなかったその生きざまは、今の私たちが忘れてしまったものを教えてくれます。正に一人で革命を起こしたような人物だと思います。京都文化の中心に静かに座っていたのが売茶翁です。

売茶翁を知る入門の一冊

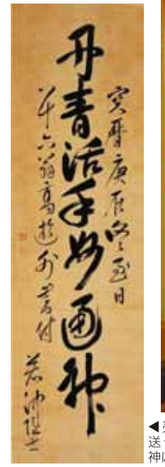


「近世畸人伝」

江戸中期の伝記集で様々な職業・階層の奇異な行状を記したもの。売茶翁についてもその一人として紹介されている。
伴蒿蹊 著／中野三敏 校注・解説
中央公論新社 刊／1523円



▲売茶翁像（比喜多宇隆筆／部分）（佐賀県立博物館蔵）



（足利義満600年忌記念「若冲展」図録より）

◀売茶翁が伊藤若冲に送った「丹青活手の妙、神に通ず」の一行書



▲肥前通仙亭展示の狩野秀頼の「楓図」。紅葉を楽しむ武士、僧侶、婦女子等を描いた風俗画の一部で、画面の左の人物が売茶翁と思われる

本名？あだ名？ 売茶翁の名前

売茶翁というのは実は名前ではなく、お茶を売る翁（おきな）という意味のあだ名のようなもの。本名ではないが、本人も時にはこの名前を記す事もあった。本名は柴山元昭、幼名は菊泉。僧侶としての名前は月海で、晩年は高遊外と名乗っていた。ちなみに高が姓で、遊外が名前。

難解だけど面白い 売茶翁のユーモア

「茶銭は黄金百鎰（いつ）より半文銭までくれしだい。 ただにて飲むも勝手なり。ただよりほかはまけ申さず」（訳：お茶の代金は小判二千両から半文までいくらでも結構。ただで飲んでも結構。ただより安くはできません）これは売茶翁が煎茶を売る時に掲げた言葉。ユーモアあふれる言い回しに、ぜひ本人に会ってみたくなる。



▶肥前通仙亭内にもこの言葉が掲げられている

自然に人が集う人柄 文化人が常に集う亭に

売茶翁のその自由な精神に魅かれるのか、周りには多くの人々が集まった。江戸時代の天才画家、伊藤若冲もその一人。人物画を描かなかった若冲がただ一人描いたのが売茶翁であり、売茶翁からもらった「丹青活手の妙、神に通ず（彩色の素晴らしは正に神業である）」の一行書を印にし、絵に捺している程心酔していた。



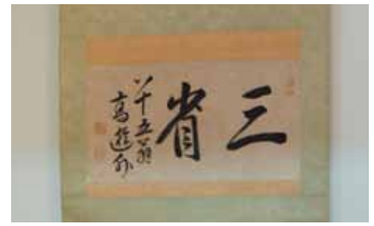
▲「売茶翁偈語」（ばいさおうげご）
売茶翁亡き後、大典顕常など当時の文化人が、その口述などをまとめた本。巻頭の肖像は伊藤若冲作
（肥前通仙亭蔵）



◀「梅山種茶譜略」（ばいざんしゅちゃふりゃく）
売茶翁が著したお茶の歴史や作法などをまとめた本
（肥前通仙亭蔵）

不憫な思いはさせない 茶道具への深い愛情

死期を感じた売茶翁は売茶業を廃し、自分の茶道具も燃やしてしまう。これは自分の死後、俗世に渡り、売買されるようなことになれば、茶道具自身が悲しむとの思いであり、売茶翁の道具に対する愛情の表れだった。



▲85歳の時の売茶翁直筆の書。「三省」とは中国の曾子（そうし）の言葉で「毎日何度も自分の行動を反省する」の意
（肥前通仙亭蔵）

《京都に行くなら》

萬福寺の売茶堂

売茶翁が修行した黄檗宗の総本山、萬福寺には売茶翁を祀る「売茶堂」があり、現在も月に一度、売茶翁を仰ぐ「売茶忌」が執り行われている。



住 京都府宇治市五ケ庄三番割34

売茶翁足跡探訪コース【約3時間】（移動約65分＋観光散策約115分）

モデルコース

日本茶栽培の発祥地から売茶翁ゆかりの地を巡り、お茶を親しみ、禅を体験する



霊仙寺跡の茶園

地図→P34 D-2

日本茶栽培発祥の地。1192年栄西禅師が中国から持ち帰ったお茶を当時九州一の山岳仏教の聖地だった脊振山腹で栽培した。

住 神埼郡吉野ヶ里町松隈字坂本付近
問 吉野ヶ里町東脊振庁舎 商工観光課 ☎0952-37-0350

車で約40分



龍津寺

地図→P34 C-4

売茶翁が幼い時出家したお寺。現在はお堂が焼失し小さな庵を残すのみ。売茶翁の顕彰碑や柴山家のお墓が建っている。

住 佐賀市巨勢町東巨勢
問 佛心寺 ☎0952-24-8528

車で約15分



肥前通仙亭

地図→P35 H-7

売茶翁に関する資料の展示や情報発信の拠点。直筆の書など、ゆかりの品も充実。もちろん美味しい煎茶も頂ける。

住 佐賀市松原4-6-18
開 9:00～17:00
休 月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
料 見学無料
問 ☎0952-65-2152

車で約5分



佛心寺

地図→P35 G-7

「刺繍地蔵菩薩座像」が安置されている。売茶翁ともゆかりが深く、住職からも楽しい話が聞ける。

住 佐賀市大財4-3-14
問 ☎0952-24-8528

車で約5分

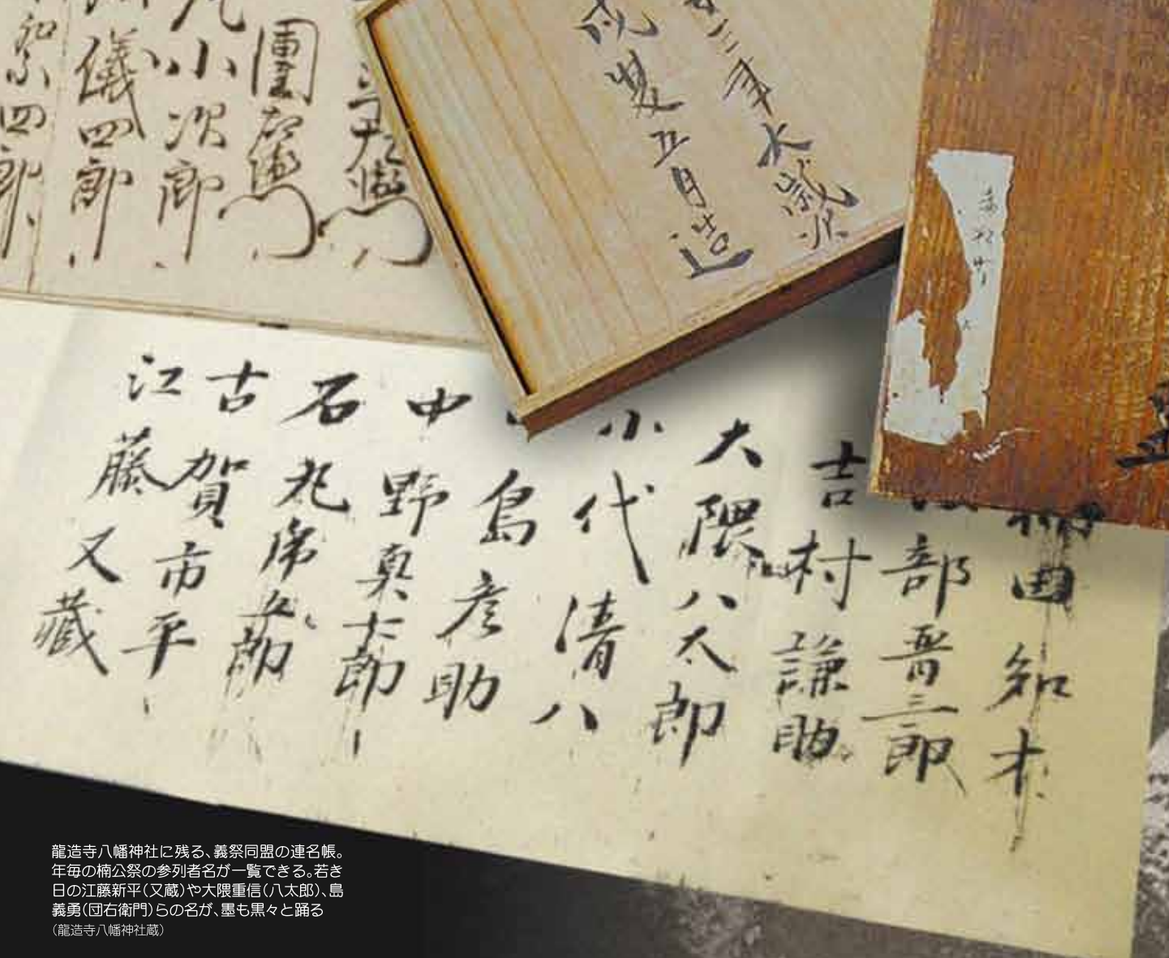


大興寺

地図→P35 G-6

売茶翁ゆかりの黄檗宗のお寺で、「禅」の体験や勉強会も定期的に開催されている。ご希望の方はお問い合わせを。

住 佐賀市神野東3-10-3
問 ☎0952-33-1713



龍造寺八幡神社に残る、義祭同盟の連名帳。年毎の楠公祭の参列者名が一覧できる。若き日の江藤新平（又蔵）や大隈重信（八太郎）、島義勇（団右衛門）らの名が、墨も黒々と踊る
（龍造寺八幡神社蔵）

近代日本の礎を築いた9人の賢人。俊英集いし義祭同盟。

近代社会のあらゆる基盤整備が行われた、幕末～明治維新期の日本。
維新とは、永き鎖国と封建社会に終わりを告げ、日本という国を根底から改革する国家プロジェクトだった。
そんな、新国家建設に大きな足跡を残した、佐賀の9人の賢人たちがいる。
彼らのうち6人が参加し、ひたむきな議論をぶつけあった場所が佐賀市中心街にある楠神社だった。



明治維新に活躍した佐賀の9人の賢人たち。義祭同盟を結成した枝吉自身はコレラによって明治維新前に亡くなってしまうが、その門下生たちは明治新政府で活躍し、枝吉を生涯の師と仰いで、理想に燃えて突っ走った。

義祭同盟とは

義祭同盟とは弘道館の教諭であり、国学者であった枝吉神陽が1850年（嘉永3年）に設立した勤王結社で、これはペリー来航の3年前のことだった。表向きは楠公父子像を祀る崇敬の集いだったが、実際は尊王論を広げ天下国家の行く末を語りあう塾の趣を帯びていた。毎年旧暦5月25日には親や兄弟姉妹にも秘密にし、佐賀鍋島藩の若き志士たちが集い、祭礼の後は無礼講で議論を深めた。

八幡神社に残された「義祭同盟連名帳」によると、初期メンバーには、枝吉次郎（副島種臣）、島団右衛門（島義勇）、大木幡六（大木喬任）らの名前があり、後に江藤又蔵（江藤新平）や大隈八太郎（大隈重信）らも参加している。他にも佐賀藩の家老であった鍋島安房（あわ）や、後に岩倉使節団に同行する久米邦武らの名前も残り、その総数は350人に及ぶ。その参加者には幕末維新期の中央政府で活躍した人物も多く、この結社が日本の近代化に於いて果たした役割は大きい。後に二度の総理大臣を務めた大隈重信は「予がこれに加盟したのが、世に出て志を立てるきっかけになったと言ってもよい」と回顧している。



楠神社の隣には義祭同盟の碑が建立。現代でも毎年5月25日前後の日曜日には楠正成・正行親子を讃える「楠公祭」が行われる

鍋島直正

なべしま なおまさ



Nabeshima Naomasa

《人物像》
- 新しいものはどんどん受け入れる開明性
- 計算高いそろばん大名
- ひょうひょうとかわす昼行灯

ずば抜けた先進性を持つ名君。

技術立国日本の基を作り上げた男。

日本をリードしたリーダーシップ

佐賀藩9代藩主・鍋島斉直（なりなお）の嫡子として江戸の佐賀藩邸に生まれる。17歳で家督を継ぎ10代藩主になると、以降30余年の在位時代に様々な改革を断行し、佐賀藩を幕末の雄藩にのし上げた。

当時、佐賀藩は福岡藩と共に一年交代で長崎港の警備についており、その負担が重く、藩の財政は逼迫していた。直正はまず粗衣粗食令を出し、自らも率先。藩の役人の大幅なリストラ、借金の整理、磁器・茶・石炭などの産業育成を通して財政改革を行い、着実に藩の財政を改善した。

教育にも力を入れ、藩校「弘道館」の拡充や洋学を学ぶ蘭学寮を設置。子息の成績によって父親の禄を決定するといった、他藩に類を見ない「文武課業法」を制定するなど、徹底して勉学を推奨し、明治政府の人材の宝庫の土壌を作った。医学にも力を入れ、医学寮を設置、当時世襲制が当たり前だった医者の免許制度を日本で初めて取り入れ、さらに当時不治の病であった天然痘の根絶のため、種痘を自らの長男で試すことでその信頼性を世に示した。

そして長崎警備の名目の元、国防のための兵器の必要性を感じ、鉄製大砲鋳造のための反射炉を築いたり、理化学研究所「精煉方」や海軍伝習所を設置、国産初の蒸気機関の開発など、幕末佐賀藩の技術力は日本の最先端を走っていた。

その結果として佐賀藩の軍事力と多くの優秀な人材は、明治維新期に大きな役割を果たし、日本の近代化を推進する原動力となった。

【概略年表】

		数え齢	
1814	文化11年	1	12月7日誕生。幼名貞丸
1830	天保元年	17	家督を継ぎ、佐賀藩第10代藩主となる
1835	天保６年	22	佐賀城二の丸火災、本丸再建を表明
1840	天保11年	27	藩校弘道館を拡張／長崎警備を強化
1844	弘化元年	31	火術方を設け砲術研究 オランダ軍艦パレンバン号に乗り込み視察
1849	嘉永２年	36	世子の淳一郎（直大）に種痘をためす
1850	嘉永３年	37	築地反射炉建設に着工
1851	嘉永４年	38	医学寮と蘭学寮を併設／神ノ島・四郎島間の埋立着工
1852	嘉永５年	39	精煉方を設ける
1858	安政５年	45	三重津御船手稽古所を設ける／医学寮を移転、好生館とする
1861	文久元年	48	隠居して閑叟を号する
1865	慶応元年	52	長崎に英学塾「致遠館」を設ける
1869	明治２年	56	上院議長拝命／大納言となる／北海道開拓史長官となる
1871	明治４年	58	1月18日死去

あなたにとって鍋島直正とは？

教育理念と開明性を持ち合わせた名君



佐賀大学名誉教授
杉谷 昭 さん

私と直正との付き合いはもう70年にもなります。私は島根の出身ですが、北京日本人学校から日本の中学に進む時には、父から直正の教育理念が残る佐賀中学校を勧められました。そこから直正一筋の人生です。とかく開明的で、キリスト教徒のフルベッキやフレンチらを佐賀に呼んだり、多くの外国船にも乗りこんだり、子供を留学させないかと言われれば、自分が行きたいと言い出したり、幕府も手に負えないとあきれていたようです。一部では二股膏薬、日和見主義だと言われていますが、30万の領民を飢えさせないためには極端なことはできません。こんな佐賀の素晴らしい偉人を多くの人に知ってほしいですね。

鍋島直正を知る入門の一冊

「鍋島閑叟」

直正の伝記だけでなく、幕末佐賀藩の政治や教育制度等、コンパクトにまとめられ、佐賀藩研究には最適の入門書。

杉谷昭 著／中公新書 刊／798円（税込）

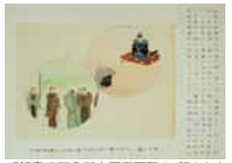




▲「築地反射炉絵図」（鍋島報效会蔵）
直正が鉄製大砲鋳造のために築地（ついじ）（今の佐賀市長瀬町）に作らせた日本初の反射炉。後に幕府からの大砲の注文に応えるため、市内の多布施にも作られた

ショック!意気揚々の御国入りのはずが…

17歳で家督を継いだ直正が、意気揚々と江戸から佐賀へ向かう途中、品川の宿で何と足止めを食らった。実は江戸の商人たちが未払い金の返済を求めて立ちふさがっていたのだ。直正はそれほどまでに藩の財政が逼迫していることを知り、そのショックがトラウマとなって倹約令など藩の様々な財政改革に打ち込んでいく。これらの借金も、その8割を放棄させ、残りを50年賦にするという、ほとんど踏み倒しに近い力技。しかしこの経験が佐賀藩が雄藩への道を進む一つのきっかけとなっていく。



▲「鍋島直正公御実歴壱百図」に記された品川宿での足止めの様子
西村慶介氏蔵（佐賀県立博物館保管）

切腹を諫め、死罪を許し多くの人材を次世代に!

直正は家来の命を軽んじるようなことは一切しなかった。事実、江藤新平や大隈重信、副島種臣らも当時重罪とされた脱藩をしているが謹慎処分で済んでいる。また失敗続きの大砲鋳造の責任者が切腹を考えると「死のうとは何事だ！」と奮起させている。まれに死刑が決まった時は涙を流し、執行前夜は酒を禁じていたという。慈愛と人道主義に満ちた人柄だった。



▲「鍋島直正和蘭船乗込図」（鍋島報效会蔵）
開明的だった直正。長崎港にオランダ船が入港すると、その船に乗り込み、熱心にその技術を学んだ。当時外国船に乗った大名は直正だけだったと思われる

敵か？味方か？のらりとかわす大胆さ

尊王か佐幕かで揺れる中、当時強大な軍事力を持つ佐賀藩の動向は各藩が気になる所。味方にしようと来た幕府の使いに、直正は「痔でござってな」と断り真意を見せない。最後は倒幕軍につき、明治維新の大きな原動力の一つとなったが、直正は程なくして亡くなってしまう。「戦国の世に生まれていれば、もう少し面白い世を送っていたかもしれぬ」。死ぬ間際、そう漏らしたといわれる。



鍋島直正二行書「先憂後楽」（佐賀県立博物館蔵）▲
国を思うものは、常に民に先立って国のことを憂い、民が楽しんだ後に自分が楽しむという意味で、直正の座右の銘。正に天下国家を憂い続けた直正の人柄を表す言葉



▲安政6年11月、江戸溜池邸にて撮影された46歳の直正。
まさに佐賀藩内の様々な改革や技術・産業開発などが行われていた隆盛期の頃の肖像（鍋島報效会蔵）

勉強するなら佐賀！中央からの地方留学

明治政府の中心的人物であった岩倉具視は、多くの人材を輩出した佐賀藩の教育に強い関心を示し、自分の二人の息子を佐賀へ留学させた。当時、中央から佐賀への留学は珍しく、いかに優秀な教育の場として注目されていたかが分かる。二人の姿は、長崎にある佐賀の英語学校「致遠館」の集合写真にも見ることができる。



▶長崎「致遠館」の写真に残る岩倉具視の息子、岩倉具経（左）と具定（右）

直正が置いた理化学研究所「精煉方」には当初思うように成果が出ず、家臣には廃止を進言する者もいたが、直正は「あれは余の道楽だ」と言って、存続させた

鍋島直正足跡探訪コース【約2時間半】（移動約55分＋観光散策約95分）

モデルコース

数多くの直正の偉業を今に伝える資料館や史跡を巡り、その全容を知る



佐賀城本丸歴史館

地図→P35 G-8

直正が再建した本丸を忠実に再現した歴史資料館。まずはここで直正の功績や幕末佐賀藩の歴史を！ガイドによる説明も。

住 佐賀市城内2-18-1
開 9:30～18:00
休 12/29～12/31、臨時休館日
料 見学無料
問 ☎0952-41-7550

徒歩で約15分



佐嘉神社

地図→P35 G-8

佐賀藩を大きく飛躍させた直正の威徳を賛え創設された神社。その象徴とも言える復元カノン砲に注目。

住 佐賀市松原2-10-43
問 ☎0952-24-9195

徒歩で約5分



徴古館

地図→P35 G-8

鍋島家代々の伝来品を管理、展示している博物館。本物こそが持つ魅力を肌で感じる事ができる。季節ごとに催しあり。

住 佐賀市松原2-5-22
開 9:30～16:00
休 日曜、祝日、年末年始、展示準備期間
料 300円（小学生以下無料）
問 ☎0952-23-4200

徒歩で約25分



築地反射炉跡

地図→P35 F-8

直正が長崎警備のための鉄製大砲を鋳造するために建設した国内初の反射炉跡。日本の近代化産業の原点とも言える場所。

住 佐賀市長瀬町9-15
（日新小学校校庭内）

車で約10分



神野公園の「隔林亭」

地図→P35 E-6

直正の別邸「神野のお茶屋」の茶室を復元したもので、幕末維新期は迎賓館としても利用された。ひととときの間、殿様気分が味わえる。

住 佐賀市神園4-1
開 9:00～17:00
休 月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
料 見学無料、呈茶サービス有（一席300円）

枝吉神陽（えだよし しんよう）

日本の未来を説くカリスマ学者。憂国の熱き俊英が仰いだ人生の師。



Edayoshi Shinyou

《人物像》
- 若者に夢を与えたカリスマ
- 学者であり思想家
- いたわり、気遣いのできる細やかさ

義祭の志士に慕われた高潔な師

藩校・弘道館の教諭であった枝吉南濠の長男として佐賀城下鬼丸町に生まれる。実弟に後に明治政府で外務卿などを務めた副島種臣がいる。

幼児期より神童と賞され、23歳の時には江戸幕府直轄の学問所「昌平黌」に学び、全国の俊英が集まる同舎の舎長を務める。帰郷した後は弘道館で教鞭を執る傍ら、父南濠の唱えた「日本一君論」を受け継ぎ勤王運動を行う。

1850年、楠木正成を祀る「義祭同盟」を結成。尊王思想を説き、江藤新平や大隈重信、副島種臣、島義勇、大木喬任らなど、後に明治政府の重鎮となる青年たちの眼を開かせた。幕末には各地に勤王組織が結成されるが、義祭同盟は藩の執政も参加したため、過激な行動には至らなかったが、志士魂を刺激し国家観を醸成する熱のこもった議論が繰り広げられた。

1862年、コレラに感染した妻をいたわり看病するうちに自身も感染し、先立つ妻を追うように2日後、世を去った。彼の人格や思想は義祭の青年たちの心に宿り、明治の国作りの随所随所で影響を及ぼすこととなる。

【概略年表】

		数え齢	
1822	文政5年	1	5月24日、佐賀藩士枝吉南濠の長男として誕生
1844	弘化元年	23	江戸遊学を命じられ、学問所「昌平黌」で学ぶ
1846	弘化3年	25	諸国遊行の旅に出、各地の文化に触れる 佐賀に戻り結婚 佐賀を訪ねてきた吉田松陰と会い、松陰に感銘を与える
1847	弘化4年	26	江戸の昌平黌に復帰
1848	嘉永元年	27	昌平黌の舎長に任じられる
1849	嘉永2年	28	佐賀に戻り、弘道館で教鞭を執る
1850	嘉永3年	29	「義祭同盟」設立
1862	文久2年	41	コレラに感染した妻を看病し自らも感染、8月14日死去



▲龍造寺八幡神社に伝わる義祭同盟の連名帳（龍造寺八幡神社蔵）

あなたにとって枝吉神陽とは？

若き志士たちを導いた勤王の巨星



佐賀市文化財保護審議会委員
大園 隆二郎 さん

枝吉は幕末当時の若い志ある青年たちを魅き付ける魅力というか引力を持った人物でした。それは江戸の昌平黌の舎長を務めた時も、佐賀の弘道館で教えた時も同じでした。勤王派で嘉永3年（1850年）には義祭同盟を主宰し、西洋列強が近づく時勢に多くの青年に日本のあり方とその実現を考えさせ、生涯の師と仰がれました。惜しむべきは明治維新の前に、41歳の若さで亡くなってしまったことです。もし生きていれば明治新政府でも多くの功績を残したのではないでしょうか。

枝吉神陽を知る入門の一冊

「八賢伝」

近年、語られることの多かった「佐賀の七賢人」に枝吉を加え、八賢人として紹介したはじめての本。枝吉も含め、各々の業績やエピソードが読みやすくまとめられている。

福岡博 著／出門堂 刊／1000円（税込）





▲「義祭同盟」の象徴とも言える楠木正成と正行父子像。楠神社の例祭（5月25日前後の日曜に開催）の時に開扉される



▲昭和7年頃の楠公社

楠木正成とは？

後醍醐天皇に仕え、1336年の湊川の戦いの折、戦局的に敗北すると知りながらも忠義のために戦ったことから、尊王思想の象徴として祀られるようになる。佐賀藩では1663年に『楠公父子桜井の駅訣別の像』を製作し、日本で初めて楠像を祀っている。

九州に枝吉先生あり 松陰が息をのむ「奇男児」

枝吉の門下から明治政府で活躍する多くの偉人を輩出したことから「佐賀の吉田松陰」とも呼ばれているが、松陰は実際に佐賀に来て枝吉と会ったことがある。その印象は「奇男子」。後に九州に向かうという友人には、必ず枝吉を訪ねるようにと勧めている。また、水戸の藤田東湖と並べ「東西の二傑」と称されていた。



▲吉田松陰（国立国会図書館蔵）

その容姿は体育会系？ 富士山だって下駄履きで

枝吉は残念ながら後ろ姿の肖像画しか残っていないが、伝えられるところによると、身体は大きく、足は長く、顔は角張っていて口は大きく、まなじり長く、目は輝き、声を出すと障子が震えたとか。一見、書生とは思えない体育会系の体型。弟の副島種臣の話によれば、20里（約80km）は毎日歩いてよいと言う程の健脚家で、江戸の昌平黌（学校）にいた時は、下駄で富士登山をしたなど信じられない話もある。

誰のための学問か！ 優しき枝吉が怒る時

枝吉は町で子供を見かけると頭をなでて話しかけ、また酒宴の席などでは決して老人より先に帰ろうとはせず、その履物を揃えたりするなど穏やかな人柄であった。一方で弟の副島種臣は、他人からの批判を気にしていた時、枝吉に「何のために学問をやっている！」怒られたのが生涯を通じて、一番恐ろしかったと振り返っている。

討つべきは異国か幕府か 分裂した義祭同盟

枝吉が結成した勤王組織「義祭同盟」。しかし黒船来航で世間の情勢が一変すると、次第に勤王運動が藩の不利益に繋がると考える保守派と、倒幕すら視野に入れた過激な改革派に分裂していった。そんな改革派を率いていたのが創設者の枝吉自身と弟・副島種臣の兄弟だった。結局その活動は藩政を動かすには至らなかったが、彼らの情熱は後の維新での精神的な礎となった。



▲安政年間の弟、副島種臣



▲「神陽先生拝楠神図」（個人蔵／佐賀県立博物館 寄託）
枝吉の姿を伝える唯一の絵図で、楠木正成を祀っている図

はみだし情報
佐賀では「7賢人」というと、鍋島直正、大隈重信、江藤新平、佐野常民、島義勇、大木喬任、副島種臣。枝吉神陽を入れて「8賢人」。最近注目を浴びてきた相良知安を入れると「9賢人」

枝吉神陽足跡探訪コース【約2時間】（移動約70分＋観光散策約50分）

モデルコース

義祭同盟の八幡神社から墓所まで、若者の育成に捧げた人生を辿る



龍造寺八幡神社（楠神社）
地図→P35 G-7

境内にある楠神社（写真）は枝吉が主宰した義祭同盟の拝殿であり、ここから多くの俊英たちを輩出していった。

住 佐賀市白山1-3-2
問 ☎0952-23-6049

徒歩で約10分



弘道館跡
地図→P35 G-8

枝吉が教鞭を取り、佐賀の多くの偉人を輩出した藩校、弘道館の跡地。石碑は徴古館の左側に建ち、当時を偲ばせる。

住 佐賀市松原2-5-22（徴古館横）
問 徴古館☎0952-23-4200

徒歩で約20分



枝吉神陽誕生地
地図→P35 G-9

佐賀城の南堀沿い、かつて枝吉家の屋敷があった所で、現在は社会福祉会館の駐車場。弟の副島種臣の誕生地も同地。

住 佐賀県佐賀市鬼丸町7-18

徒歩で約20分



梅林寺
地図→P35 F-9

義祭同盟結成まで、楠公父子の木像が安置されていた寺。1850年の結成後、数年間はここで楠公を祀る義祭が執り行なわれた。

住 佐賀市本庄町大字本庄377
問 ☎0952-24-9005

徒歩で約20分



高伝寺
地図→P35 F-9

鍋島家、龍造寺家の菩提寺で、枝吉の墓もここに。弟の副島種臣の墓と枝吉の遺徳碑も並び、その威徳を偲ぶことができる。

住 佐賀市本庄町大字本庄1112-1
開 9:00～20:00
料 300円
問 ☎0952-23-6486

しまよしたけ

島義勇

北の大地を切り拓いた開拓者。
理想へ突き進む、体当たり人生。



《人物像》
- 火が付きやすい情熱型
- 思い立ったら一直線
- 自ら切り開くチャレンジャー精神

熱き心で、極寒の大地を切り開く

佐賀藩士島市郎右衛門の長男として佐賀城下精(しらげ)小路に生まれる。通称は団右衛門。9歳の頃より藩校「弘道館」に学び、23歳で卒業。家督を継いだ後は諸国を遊学し、佐藤一斎や藤田東湖らに学ぶ。帰国して藩主鍋島直正の外小姓、弘道館目付となる。枝吉神陽の「義祭同盟」にも創設期から参加し、そこで江藤新平や大木喬任とも出会っている。

そして1856年、直正の信頼も厚かった島はその命で、当時の未開拓地であった蝦夷地(現在の北海道)の探検に随行。厳しい寒さの中、約2年に渡って歩き続け、その詳しい調査結果を記した「入北記」を残している。佐賀に戻った島は直正に蝦夷地への移民を進言するが、まだ時期尚早と断られている。

明治新政府では直正が蝦夷開拓督務となると、その経歴を買われ、開拓使判官に就任。北海道開拓の町づくりを任される。極寒の中、札幌を中心とした町づくりを進めるも予算による衝突で志半ばで解任。後に秋田県権令となるも、ここでも中央政府とぶつかりまたも解任。後の佐賀の役では憂国党の党首となって戦うも、敗れ、53年の理想に燃えた生涯を閉じた。

【概略年表】

数え齢			
1822	文政5年	1	9月12日、島市郎右衛門の長男として佐賀城下に誕生
1830	天保元年	9	藩校弘道館に入学
1844	弘化元年	23	弘道館を卒業して諸国に遊学
1847	弘化4年	26	弘道館目付、藩主鍋島直正の外小姓となる
1850	嘉永3年	29	義祭同盟発会式に出席。江藤新平、大木喬任などを知る
1856	安政3年	35	鍋島直正の命により北海道、樺太の探検調査に出発
1858	安政5年	37	帰藩、御蔵方、同組頭から香焼島守備隊長となる
1867	慶応3年	46	藩命で軍艦奉行、朝令で陸軍先鋒参謀の佐賀藩兵付となる
1869	明治2年	48	蝦夷開拓史首席判官として北海道に赴任
1870	明治3年	49	蝦夷開拓史首席判官解任／明治天皇の侍従に任命
1872	明治5年	51	秋田県権令となり八郎潟干拓施策を打ち出すが4ヶ月で解任
1874	明治7年	53	佐賀の役、鹿児島で捕縛され、4月13日没

【1889年(明治22年)賊名を解かれ、1916年(大正5年)従四位を贈られた】



◀現在の札幌市の様子。島が極寒の寒さに耐えながら切り開いた荒れ地は多くの人々の生活と憩いの場となっている

あなたにとって島義勇とは？

北の大地を切り拓いた佐賀の誇り



佐賀市八戸在住
井手 良治 さん

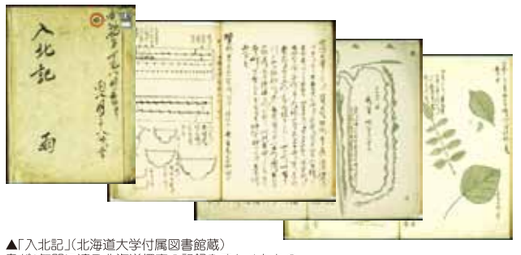
島は佐賀が誇る賢人の一人ですが、実は地元佐賀では余り知られていない賢人の一人なんです。それは彼の功績のほとんどが北海道や秋田など北の方に集中しているからなんですよ。私の同級生も北海道在住なのですが、佐賀県人の先進性は高く評価され、島の銅像や記念碑もたくさん立てられています。佐賀の偉人がそんな遠い土地で親しまれているのは嬉しいですね。これからは地元佐賀の皆さんにも、もっと人間、島義勇のことを知って欲しいです。

島義勇を知る入門の一冊

「島義勇」(佐賀偉人伝05)

佐賀城本丸歴史館が刊行する幕末明治に活躍した人物伝シリーズ。開拓判官として北海道開拓にかけたその足跡に絞って書や絵図などと共に詳しく紹介している一冊。
榎木洋介 著／佐賀城本丸歴史館 刊
1000円(税込)





▲「入北記」(北海道大学付属図書館蔵)
島が2年間に渡る北海道探索の記録をまとめたもの。
植物や生態、アイヌの人々の生活の様子など、図入りで詳しく描かれている

極寒の大地で島が目指した理想郷

島が都市設計の基礎を行った札幌の街、地図で見てみると、道が碁盤の目のように並び、地名にも一条、二条と言う名前が並んでいる。実はこれ、島が京都の町並みを参考に設計したため。札幌に日本一の町作りを目指した島だったが、厳冬の状況下、その工事は困難を極め、1年分の予算を3ヶ月で使い果たしてしまい、想い半ばで解任になってしまう。しかし、その先駆者たる島を札幌開拓の父として掲載し紹介している教科書もあるのだ。



▲1889年(明治22年)の札幌地図(札幌市中央図書館蔵)
碁盤の目のように整然と整備された町並みの中央には、当時としては類を見ない幅50mの大通りが見て取れる



▲島が2年間で歩いた道程。現ロシア領の樺太にも渡っている。寒い夜は犬を抱き締めて暖をとったとのこと。大変な苦労が偲ばれる

島を駆り立てた船中での挑発

士族による不穏な動きがある佐賀へ向かうために島が乗り込んだ船。そこには、佐賀県権令として赴任する岩村高俊の姿もあった。船中、岩村は取巻き相手に佐賀人を高声にののしり、それを聞いた島は岩村と掴み合いの喧嘩になる。翌日、下関で降りた岩村が兵隊を連れて佐賀に乗り込むと聞いた島は怒り、討伐されようとしている佐賀のために起つ決心を固めたという。

盟友必ずしも同志ならず 盟友・江藤新平との関係

島は尊王攘夷の本場である水戸の学者、藤田東湖に思想的に傾倒しており、義祭同盟の志士たちの中でも特に過激な攘夷論者として知られていた。佐賀の役で江藤新平と一緒に戦ったのは思想的に近い同志というよりも、各々の事情で政府軍を共に迎え討ったというのが真相らしい。



▲「佐賀県逆動記聞」1877年刊(佐賀県立博物館蔵)
佐賀の役を描いた錦絵。島や江藤新平の姿も描かれている。



▲束帯姿の島義勇(北海道大学付属図書館蔵)

二つの呼び名「団にょんさん」と「判官さま」

島は幼名を団右衛門といい、佐賀では「団にょんさん」と呼んで親しまれていた。また札幌では開拓判官だったことから「判官さま」と呼び慕われ、その名も「判官さま」というお菓子まで販売されている。中に粒あんが入った焼きもちで、生地に含まれるそば粉の香りが鼻腔をくすぐる。



▲島の愛称「判官さま」の名がつけられたお菓子
問 六花亭
☎0155-37-6666



▶札幌市役所のロビーに立つ約2.5mの島義勇像

はみだし情報

秋田県権令の島は八郎潟開拓予算資金を政府の井上馨に要望したが完全無視され、その後つかみあわんばかりの大論争をしたが結局予算がつかず免官されてしまった。八郎潟干拓は昭和23年なので、島の先見の明がらは75年もの月日が流れている。

島義勇足跡探訪コース【約2時間】(移動約95分＋観光散策約25分)

モデルコース　その生誕地から墓所まで、佐賀に残るその軌跡を辿る



島義勇誕生地
地図→P35 F-8
佐賀大学の北側の細い路地沿いにある、当時島家の屋敷があったとされる場所。今では石碑が立つのみ。
住 佐賀市与賀町1342付近

徒歩で約15分



宝琳院
地図→P35 G-9
佐賀の役の際に島率いる憂国党が本営とした寺。
住 佐賀市鬼丸町12-30
問 ☎0952-25-2848
FAX0952-25-4165

徒歩で約15分



殉国十三烈士の碑
地図→P35 G-8
江藤新平や島をはじめ、佐賀の役で殉死した13人を偲ぶ慰霊碑。県立博物館近くの歩道沿いにある。
住 佐賀市城内1-15-23付近
(佐賀県立美術館・博物館敷地内)

徒歩で約15分



万部島(佐賀の役記念碑)
地図→P35 G-8
鍋島家の安泰を祈って法華経一万部を読んだ小さい島の跡。敷地内の「佐賀の役記念碑」を恐ろしげな亀(亀鉄)が背負う。
住 佐賀市水ヶ江1-8-5付近

徒歩で約10分

弘道館跡
地図→P35 G-8
通った藩校

徒歩で約10分

龍造寺八幡神社
地図→P35 G-7
義祭同盟の地

車で約30分



来迎寺
地図→P34 C-3
葉隠のふるさと、佐賀市金立町の小高い丘の上にある島家の菩提寺で、島も今はここで静かに眠っている。
住 佐賀市金立町大字金立1660
問 ☎0952-98-1025

佐野常民

さの つねたみ

何でもやります元祖マルチ人間。その芯にある揺るぎなき博愛精神。



《人物像》
- 涙もろい純真さ
- ジャンルを問わない多才さ
- 叩かれても曲がらない芯の強さ

Sano Tsunetami

日本赤十字の創設者

早津江村（現佐賀市川副町早津江地区）に佐賀藩士・下村三郎左衛門の五男として生まれる。9歳の時に佐賀城下水ヶ江の佐賀藩医、佐野常徴の養子となり、医者を継ぐための勉強を始める。

13歳の時に藩校「弘道館」に入学。以降、江戸の古賀侗庵、佐賀の松尾塾、京都の広瀬元恭の時習堂、大阪の緒方洪庵の適塾、紀伊で華岡青洲の春林軒塾、江戸で伊東玄朴の象先堂塾に入門、幾多の留学体験で幅広い学識を得た。

31歳の時に佐賀藩が設置した理化学研究所、精煉方の主任となり、日本初の蒸気機関のひな形等を完成。長崎では幕府の海軍伝習に参加し、後に佐賀の三重津海軍伝習所の監督となり、国産初の実用蒸気船、凌風丸を完成させる。

1867年、パリ万博に参加する佐賀藩の代表として渡欧。そこで赤十字の存在を知り、深い感銘を受ける。10年後に西南戦争が勃発すると、日本赤十字の前身となる「博愛社」を設立、敵味方に関係なく負傷者の救護活動を行った。その設立には幾多の反対があったが、佐野はその信念を貫き、有栖川宮熾仁親王への直訴を持って実現に至った。

他にも日本海軍創設の提言や灯台の建設、日本美術の保護団体の創設など、多彩に活躍。日本はまるで佐野に引っ張られるように近代化へ突き進む。

【概略年表】

		数え歳	
1822	文政5年	1	12月28日、佐賀郡早津江に誕生
1831	天保2年	10	佐野常徴の養子となる
1835	天保6年	14	藩校弘道館に入学する
1837	天保8年	16	江戸の古賀侗庵、京都の広瀬元恭など、各地へ留学
1848	嘉永元年	27	大坂の緒方洪庵の適塾で学ぶ
1849	嘉永2年	28	江戸で伊東玄朴の象先堂塾に入門し、塾頭となる
1851	嘉永4年	30	長崎で塾を開く
1853	嘉永6年	32	佐賀藩精煉方主任となる
1855	安政2年	34	長崎で海軍伝習開始／国産初の蒸気機関車模型を完成
1858	安政5年	37	三重津海軍所の監督となる
1865	慶応元年	44	三重津造船所で蒸気船凌風丸完成
1867	慶応3年	46	パリ万博参加のため渡欧、赤十字社のことを知る
1872	明治5年	51	博覧会御用掛に就任し、日本初の博覧会を湯島聖堂で開催
1873	明治6年	52	ウィーン万国博覧会事務副総裁に就任して、ウィーンに赴く
1877	明治10年	56	大給恒らと博愛社を創立／第1回内国勧業博を開く
1879	明治12年	58	日本美術の海外流出を防ぐために、龍池会（日本美術協会）発足
1882	明治15年	61	元老院議長に就任
1887	明治20年	66	博愛社を日本赤十字社と改称、初代社長となる
1888	明治21年	67	枢密顧問官に就任／磐梯山噴火の救援活動を行う
1902	明治35年	81	12月7日、東京の自宅で死去

あなたにとって佐野常民とは？

思い込んだらやり通す、情熱の男



佐野常民記念館 前館長
古賀 一彦 さん

常民は80年の生涯の中で、政治家としてだけでなく、日本の産業界や海運、芸術等、あらゆる分野で活躍し、日本の新しい国づくりの礎を築きました。しかしそれを決しておごることはなく、苦労の末、成し遂げた時には人前をはばからず感激の涙を流した人物です。その人柄に鍋島直正も多くの事を任せたのかも知れません。そんな常民のチャレンジ精神と人を愛する博愛の心を、これからの時代を担う子供達にも伝えて行きたいですね。私たちはそのためのパイプ役でありたいと思います。

佐野常民が主人公の小説

「火城」

佐野がまだ佐賀藩士だった頃に日本初の蒸気船を作り上げるまでを綴った時代小説。その涙もろさや奇想天外な発想など、佐野の人物像がイキイキと伝わる。

高橋克彦 著／角川書店 刊／650円（税込）





▲博愛社設立許可の図（日本赤十字社蔵／画像提供：佐野常民記念館）
西南戦争の舞台となっている熊本にて。有栖川総督への直訴がかなった瞬間



▲1867年、佐賀藩の代表としてパリ万博に出席する一団。後列左より藤山文一、深川長右衛門、前列左より小出千之助、佐野常民、野中元右衛門（「仏国行路記」所載）

真相は永遠の闇の中 佐野常民生涯最大の謎

江戸の伊東玄朴の蘭学塾「象先堂」で勉学に励んでいた時のこと。塾にはヅーフ・ハルマというオランダ語の辞書があり、塾生はこれを奪い合うように勉強していた。ある日佐野はこれを持ち出し、何と30両（約360～390万円）で買入れしてしまったのだ。当然塾は破門され、佐賀に戻ることになるが、佐野は後年、その真相について決して話すことはなかった。誰にも話せぬ余程の訳があったのだろう。



▲伊東玄朴も佐賀神埼の出身（「伊東玄朴伝」所載）

泣きの常民 5つの涙の訳

佐野がしばしば人前で涙を流したことは有名だが、中でも有名な「5つの涙」というのがある。それは博愛社設立の願書許可の際、精煉方の二代目田中儀右衛門の惨殺の際、パリでの野中元右衛門の客死の際、帆船購入に当たり賄賂の中傷で解任の際、そして鍋島直正の死の際。それ以外にも直正からの恩義にはよく涙していたとの話も。そんな男気あふれる涙が美しい。

京都の町も救っている 冴えわたる「博覧会男」

佐野はパリとウィーンの2回の博覧会に代表として参加し「博覧会男」との異名を持っていた。国内初の勧業博覧会を開いたのも佐野。そんな折、東京遷都により京都は天皇が離れ、衰退していた。そんな京都に佐野は路面電車を走らせたり、共通チケットやガイドブックを作ったり、新たな観光スタイルを樹立して、京都の街は見事復活。まさに「博覧会男」の面目躍如。

人材は藩を救う 佐野の名スカウト術

「象先堂」を破門された佐野は江戸から佐賀に戻る際、京都で「からくり儀右衛門」として有名な田中久重親子ら4人の技術者をスカウトし佐賀に連れて帰る。当時の佐賀藩は二重鎖国をとっており、他藩の人間を雇うなんてもってのほか。佐野は何とかこれを説き伏せ、結果佐賀藩では蒸気機関の開発など、飛躍的な科学進歩を遂げることになる。籍に関係なく、優れた人材が情勢を助けるのは今も昔も変わらない。



▲「三重津海軍所之図」（鍋島報效会蔵）
佐野が監督を務めた海軍教練や修船の施設。日本初の実用蒸汽船凌風丸もここで完成した



▲佐野がスカウトした田中久重（左）と息子の儀右衛門（中央）、そして石黒寛次（右）（「佐賀藩海軍史」所載）



▲日本初の蒸汽車のひな形（鍋島報效会蔵）



▲佐野48歳頃の肖像
（日本赤十字社蔵／画像提供：佐野常民記念館）

佐野常民足跡探訪コース【約2時間】（移動約60分＋観光散策約60分）

モデルコース　佐賀藩の発展に数々の功績を残した佐野の軌跡を巡り行く



佐野常民生誕地

地図→P34 C-5

佐野が9歳で佐野家の養子に行くまで暮らした地。大正15年に記念碑が建てられ、その功績が顕彰されている。

住 佐賀市川副町大字早津江津268

徒歩で約10分



佐野常民記念館

地図→P34 C-5

遺品や関連資料の展示など、佐野の功績をわかりやすく学べる施設。体験学習施設としての機能もあわせもっている。

住 佐賀市川副町大字早津江津446-1
開 9:00～19:00
休 月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
料 大人300円 高校生以下100円
問 ☎0952-34-9455

徒歩で約5分



三重津海軍所跡（佐野記念公園）

地図→P34 C-5

佐賀藩が1858年に設立し、佐野が監督を務めた蒸気船等の船の修理・造船施設跡。平成27年7月に世界文化遺産に登録された。

住 佐賀市川副町大字早津江津
問 佐野常民記念館
☎0952-34-9455

車で約30分



佐野常民旧宅地界隈

地図→P35 H-8

佐野が養子に出された藩医、佐野獺仙の屋敷跡。近辺は大隈重信生家など、当時の雰囲気が残り、町歩きにいい。

住 佐賀市水ヶ江2-9-25

▲宅跡は洋菓子店「マウンテン枳小路」に

車で約5分

通った藩校 弘道館跡 地図→P35 G-8

車で約10分



精煉方跡

地図→P35 F-7

佐野が主任を務めた、幕末佐賀藩の理化学研究所。数多くの実験、研究が行われ、今は当時を偲ぶ空間だけが残る。

住 佐賀市多布施3-4-5

副島種臣

そえじま たねおみ



世界が認めた正義の外務卿。その「書」に見るフリーマン精神。

人をとりこにする人柄と学識

佐賀藩士枝吉南濠の二男として佐賀城下鬼丸町に生まれる。国学者である父と兄・枝吉神陽の影響により、早くから尊王攘夷思想に目覚める。7歳で藩校「弘道館」に入学。出来の良い兄と弟に挟まれ、劣等感に悩む日々だったが、一念発起し21歳で弘道館首班を務めるまでになる。

32歳の時、父南濠が亡くなると同藩の副島利忠の養子となる。兄の「義祭同盟」にも参加、1867年には大政奉還を進めるために大隈重信と脱藩するが、捕えられて謹慎処分を受ける。

明治政府では参与・制度取調局判事となり、1869年に参議、1871年に外務卿を歴任。明治5年のマリア・ルス号事件で「正義の人」として一躍国内外で脚光を浴びるようになる。翌年には台湾の宮古島島民遭難事件の処理交渉のために清を訪れ、清朝高官との詩文交換でその博学ぶりも評価され、信頼を一層深めた。同年、征韓論争に敗れて下野。自宅を売り払い、中国大陸を旅行し見識を深める。後に明治天皇の侍講を務め、天皇からも寵愛された。

西南戦争で敗れた西郷隆盛が日本の未来を託す遺言状の宛先に副島を選んだことからもわかるように、幕末維新～明治初期の多くの英傑から全幅の信頼を受ける学識と人柄であった。

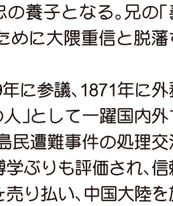
書家「蒼海」としても多くの作品を残し、その独創的な書は今も尚多くの人を魅了。同じく佐賀出身の書聖、中林梧竹と共に近代書の源流と言われている。

【概略年表】

	数え齢	
1828 文政11年	1	10月17日、佐賀藩士枝吉南濠の二男として誕生
1848 嘉永元年	21	弘道館内寮生の首班となる
1852 嘉永５年	25	京都に留学して、皇学を研究、「日本一君論」を説く
1859 安政６年	32	佐賀藩士副島和忠の養氏となり、副島二郎種臣と名乗る
1865 慶応元年	38	長崎の「致遠館」において、フルベッキより英学を学ぶ
1867 慶応３年	40	大隈重信とともに脱藩して上京、「大政奉還」を説く
1868 明治元年	41	新政府にて参与となり、制度取調局判事に任ぜられる
1869 明治２年	42	参議に任ぜられ、西郷隆盛とともに東北諸藩の処置
1871 明治４年	44	樺太の国境問題について露国領事と談判／外務卿となる
1872 明治５年	45	マリア・ルス号事件
1873 明治６年	46	清国におもむき「日清修好条約」の批准を交換、清国皇帝に謁見
1874 明治７年	47	板垣退助、江藤新平らと愛国公党を設立、民撰議院設立建白書提出
1876 明治９年	49	霞ヶ関の自宅を売り、清国歴遊の旅に出る
1879 明治12年	52	宮内庁御用掛一等侍講に任ぜられる
1891 明治24年	64	枢密院副議長に任ぜられる
1892 明治25年	65	3月、内務大臣に任ぜられるも6月辞任／再び枢密顧問官に
1905 明治38年	78	1月31日、死去

あなたにとって副島種臣とは？

書に現れる、その人格



佐賀県教育連盟 元会長／書家
米倉 基峰 さん

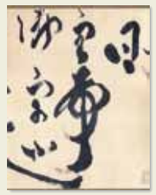
佐賀では政治家として有名ですが、近代書の先駆者としても大きな功績を残した人なんです。その書は独走的で胆大心小、質実剛健・曲った事が嫌いな本人の人間性がよく出ています。また、漢詩、漢文に達者で、中国でも雄渾絶画の趣きと賞賛され、外交にも大きな役割を果たしました。とにかく政治家としても書家としても、良いと思った事は徹底的にやりぬく、そんな人でした。もっと地元佐賀の人にも副島種臣、そして書家「蒼海」の素晴らしさを知って欲しいですね。

副島種臣を知る入門の一冊

「蒼海 副島種臣-全心の書-展 図録」

没後100周年を記念して開催された書道展の図録。副島の書を中心に名品140点を収録。署名、印、年譜なども付載した副島種臣書の基礎資料となる一冊。

佐賀県立美術館 編／佐賀新聞社 刊
2500円（税込）



《人物像》
- 当代随一の学識と高い人望
- 人に推される実力ある人
- 芸術的才能を開花させた人

国際芸術

Soejima Taneomi



▲明治5年、マリア・ルス号事件を担当していた頃の副島の肖像

人間としての法に従った正義の人

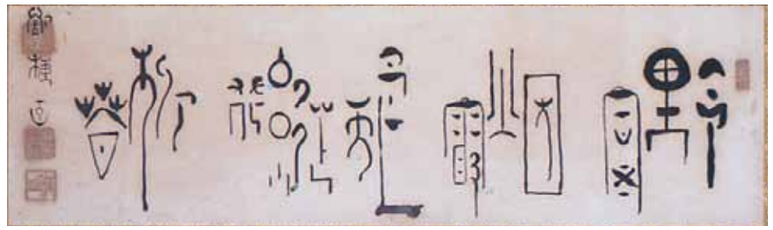
副島を語る上で外せないのがマリア・ルス号事件。明治5年（1872）に横浜港に停泊中のペルー船マリア・ルス号内で奴隷的扱いを受けていた清国人231人を解放した事件で、日本初の国際裁判だった。船の中は治外法権であり、国際問題になることを恐れ、周りが不干渉を決め込む中、外務卿の副島は断固としてこれを訴え、勝利を勝ち取った。この事件を機に、副島は「正義の人」として国際的にも広く知られるようになった。

これぞ芸術家気質？天下の無精者

藩校弘道館での寄宿舎生活時代の話、朝起きると皆は裏の松原川で顔を洗うことになっていたが、副島は二本の指を濡らして、目の縁を擦っただけで済ませていた。また、副島が養子に入った佐賀市西与賀町の今津周辺では、子供がいいかげんな風呂の入り方をするのを「二郎さん（副島の通称）の風呂入り」といったそうである。彼の豊かな髭もその証か。



▲「帰雲飛雨」（佐賀県立美術館蔵）　リズミカルに丸を重ねるように筆を走らせた、躍動感あふれる自由な書



▲「春日其四句」
幾何学的パターンを連ねた書は絵画にも似る。読みは「野は烟霞(えんか)の色に富み、天は花柳の春を縦(ほしいまま)にす」。

書道デザイナー独創的すぎる書

副島は「蒼海」の名で多くの書を残しており、その作品は書道界に大きな衝撃を与えた。作風は誰にも似ず、独創性にあふれ、文字というよりむしろ絵画のようにも見える。書道雑誌も蒼海を特集すれば良く売れ、展覧会の図録も売り切れてしまうほど。ちなみに「佐賀新聞」の題字も副島の作。



▲「富士山画詠額」（佐賀県立美術館蔵）
副島は息子道正から、「心配」で通した一生と言われ、日本の国の将来を憂いた。「ひと津可の石をそこ者く可さ根亭そ代爾多くひなき多可根とはなる種臣写并題 于時壬辰八月」

自由なる精神 天皇にも愛された人柄

副島は明治天皇に学問を講じる「侍講」という職についていた。しかし周りのやっかみもあり、副島が辞職しようとした時、まだ続けて欲しいと天皇直筆の手紙を賜り、思いとどまったことがあった。また副島の貧乏暮らしを見かねた天皇がお金を送った時には「名君は万人に平等であらねば」とこれを辞退。その男気あふれる高潔な人柄が愛されていた。



▲若き日の副島（左端）と大隈重信（右隣）と思われる写真
（大隈記念館蔵）

はみだし情報

副島は当時の外国領事たちに「信頼できる第一級の人物」と評価が高かった。それは、日本が遅れた国だからといってそれさえ認められれば、融通をきかせ歩み寄りのスタンスを失わなかったからだという。副島には、日本の国を卑屈にならずに主張すべきはしっかり言う、日本の国のあり方を示しながらも尊敬を勝ち得た事例が多い。

副島種臣足跡探訪コース【約2時間】（移動約75分＋観光散策約45分）

モデルコース　佐賀市街に残る、副島の軌跡と書の作品を訪ね歩く



副島種臣生誕地
地図→P35 G-9
佐賀城南堀沿いにあった枝吉家の屋敷跡。現在は社会福祉会館の駐車場で、その石碑の揮毫(きごう)も見事。
住 佐賀県佐賀市鬼丸町7-18

徒歩で約10分



佐賀県立美術館
地図→P35 G-8
「蒼海」の名で残した多くの書の作品が収蔵され、常設展示も数点。展示会なども企画されるので、まずは電話確認を。
住 佐賀市城内1-15-23
開 9:30～18:00
休 月曜（祝日の場合は翌日）、12/29～31
料 無料（企画展は除く）
問 ☎0952-24-3947

徒歩で約10分



▲この松原川で副島らが顔を洗った

弘道館跡
地図→P35 G-8
藩校弘道館跡。裏手には松原川が流れ、寄宿舎時代に多くの仲間と共に過ごした生活が想像されて楽しい。
住 佐賀市松原2-5-22（徴古館横）
問 徴古館 ☎0952-23-4200

徒歩で約10分

義祭同盟の地 龍造寺八幡神社
地図→P35 G-7

徒歩で約15分



與賀神社（与賀神社）
地図→P35 G-8
副島の「神降百福」の直筆が社務所に、木額が本殿の拝殿正面に掲げられ、いつでも気軽に副島の書を拝める穴場。
住 佐賀市与賀町2-50
問 ☎0952-23-6091

徒歩で約30分



高伝寺
地図→P35 F-9
鍋島家、龍造寺家の菩提寺で、兄枝吉神陽の遺徳碑と並んで副島の墓があり、二人を同時にお参りができる。
住 佐賀市本庄町大字本庄1112-1
開 9:00～20:00
料 300円
問 ☎0952-23-6486

おおき たかとう

大木喬任



教育制度の基礎を作り上げた酒豪。全てを知り、学ぶことのカッコよさ。

全ての国民に「学び」の場を与えん

佐賀藩士大木知喬の長男として佐賀城下赤松町に生まれる。他に兄弟はなく一人っ子。大木11歳の時に、父知喬が亡くなり、母シカ子の手一つで育てられることになる。大木は「家の刀が皆俺のものになった」と喜んだというが、それは父親を亡くした少年の強がりだったのだろう。

15歳の頃から藩校「弘道館」の内寮生となり、19歳の時に枝吉神陽により「義祭同盟」が結成されると参加。江藤新平、大隈重信、副島種臣らと親交し、志士活動にも参加している。

明治元年、明治新政府に出仕すると、江藤と共に江戸遷都を建白。名前を東京と改め、民間出身としては最初の東京府知事となる。明治4年には初代文部卿となって学制・学校令・教育勅語などの教育体制の整備に尽力。それまで特定の子供しか行けなった学校を誰でも通えるようにし、全国に5万以上の小学校を置くなど、今日に続く学制の基礎を築いた。

明治6年には参議兼司法卿となり、後の神風連の乱や萩の乱の事後処理に当たった。また、法典編纂の確立にも尽力したことから、明治の六大教育家の一人に数えられている。

【概略年表】

		数え齢	
1832	天保３年	1	3月23日、佐賀藩士大木知喬の長男として佐賀城下赤松町に誕生
1842	天保13年	11	父、知喬が亡くなり、以降、母シカ子の手で育てられる
1846	弘化３年	15	藩校弘道館に学ぶ／「資治通鑑」を精読
1850	嘉永３年	19	枝吉神陽らの主唱で義祭同盟が生まれ、参加する
1860	万延元年	29	藩校弘道館から選ばれて江戸遊学の途に上る
1863	文久３年	32	江藤新平と久留米に潜行し、長州藩士らに会う
1868	明治元年	37	江藤新平と共に東京遷都論を建白、東京府知事となる
1873	明治６年	42	参議に任じ文部卿を兼ねる／司法卿に任ぜられる
1876	明治９年	45	西国出張、萩、神風連、秋月の乱などの裁判処理にあたる
1881	明治14年	50	司法卿に任ぜられる
1884	明治17年	53	多年の功により華族に列し伯爵を授けられる
1889	明治22年	58	枢密院議長に任ぜられる
1891	明治24年	60	宮中顧問官、文部大臣に任ぜられる
1899	明治32年	68	6月26日死去、東京青山墓地に葬られる

あなたにとって大木喬任とは？

静かなる内に秘めた反骨精神



佐賀城本丸歴史館ボランティアスタッフ
小寺 豊二 さん

大木は悪い言い方をすれば利己的で、我が道を行く性格。しかしその自分を通すためにはその分の努力もした人物です。とにかくその頭脳は副島や大隈も一目置く存在でした。そして目立ちたがり屋でもありました。自分一人引きずるような長袴を履いていたのも彼なりのオシャレだったのかもしれません。周りはそんな彼を「呉服屋の番頭」とからかったようです。また規則で木綿以外の服が禁じられている中、一人絹の着物を着たり、自分だけ専用座布団を持参したり。周りにどんな陰口を叩かれようが、自分が良いと思ったものは良い。そんな強い信念が感じられます。佐賀の七賢人の中ではちょっと地味な存在ですが、知れば知る程魅力的な人物なんですよ。

大木喬任を知る入門の一冊

「大木喬任」（佐賀偉人伝06）

佐賀城本丸歴史館が刊行する幕末明治に活躍した人物伝シリーズ。今まで書籍などで語られる事の少なかった大木の構想や功績に切り込んだ一冊。

重松優 著／佐賀城本丸歴史館 刊
1000円（税込）



教育

《人物像》
- 寡黙でクールな啓蒙家
- 「オレ流」を貫いた我流人
- 酒と本を愛する書生

Ohki Takatou



▲「東京府京橋之図」月岡芳年/画（早稲田大学図書館蔵）　大木が江藤新平と建白した東京遷都により、京都から東京に移る天皇の行列を描いた錦絵



▲大木が書いた学制発布に関する書簡（早稲田大学図書館蔵）

失敗から学べ 食料危機を救った方法

大木が明治新政府、東京の二代目の知事になった年は1869年。ただでさえ幕府が倒れて日まだ浅く東京は混乱の真っ最中なのに凶作で米価が高騰して人心は不安定だった。彼が素早く米価安定を図り、中国から南京米を輸入し飢餓を救い、浮浪児らの救育所を作ったので都の人心は安定した。しかし荒れ果てた武家屋敷を利用して桑園や茶畑を作った「桑茶規則」は、病害などで目立った効果が出ず、大木も「大失敗だった」と述懐。しかし「失敗を人より早く悟り、過ちを改めてさらに都再建の意欲がわいた」との言葉には、しぶとい男・大木らしさがうかがえる。

知識は拳より強し 寝ている暇などなし

周りの人間が口を揃えて言う程、大木は頭が良かった。それを培ったのが大量の読書量。藩校「弘道館」の寮生として暮らしている時も、毎晩明け方まで中国の歴史書などを読み続け、その部屋は本で足場の踏み場もなかったらしい。

父親譲りの大酒豪 どんな時でもまず酒だ

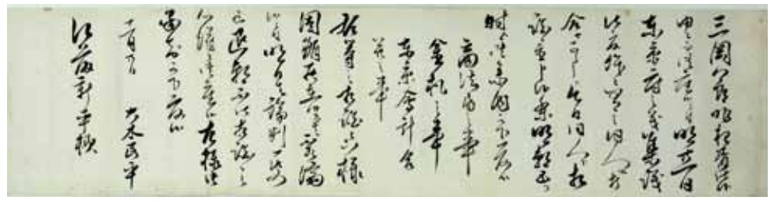
大木は父親譲りの相当な酒豪で水のように飲んでいた。15歳で藩校弘道館に入った後も隠れて飲んでいたらしい。そんな彼がほろ酔いで東京遷都案を岩倉具視に相談に行った所、「それは木戸孝允に相談しろ」と追い返された。翌朝、岩倉から話を聞いた木戸が大木を訪ねると、今度はやけ酒を飲んでふて寝していたらしい。

学生時代の仲良しトリオ 熱き友情物語

寡黙な性格だった大木がよくつるんでいたのが、中野方蔵と江藤新平。共に弘道館で学び、義祭同盟にも参加した仲間。中野は坂下門外の変に関係したと捕らえられ、28歳で獄死してしまうが、大木はその亡がらを引き取り密かに弔い、墓を建てて冥福を祈った。また、若き江藤が脱藩を決意した時、その資金を工面したり、明治7年、江藤が不穏な動きのある佐賀に帰ろうとした時も彼を心配し引き止め、結果江藤が捕まった時も死刑にならないよう政府内を奔走したりと、友情をことのほか大切にした人物だった。



▲明治のはじめ頃の大木（長崎大学附属図書館蔵）



▲大木喬任書簡（佐賀県立博物館蔵）
大木が江藤新平に宛てて書いた手紙。東京府の商法局や礼金のことなどについて、明朝会議を行う旨を告げたもの

はみだし情報

弘道館の仲間の中で「怒らせると一番恐い」と噂されていたのが大木だった。大隈重信は大木が血だらけの喧嘩をしているのを目撃して、すさまじかったと語っている。普段は読書ばかりしていたがやる時はやる、「静かなる武闘派」だったらしい。

大木喬任足跡探訪コース【約2時間半】（移動約95分＋観光散策約55分）

モデルコース　大木が佐賀で歩んだ友情と勉学の道を訪ね歩く



大木公園

地図→P35 H-8

大木の生家跡にある公園。大木と息子遠吉の巨大な記念碑が並び、その偉業の大きさを感じられる。

住 佐賀市水ヶ江3丁目4-12

徒歩で約10分



大隈重信生家

地図→P35 H-8

大隈らとは遊び仲間で、よく遊びに行き、皆の溜まり場となっていた。GWなどに公開される大隈の勉強部屋は見所。

住 佐賀市水ヶ江2-11-11
開 大隈記念館の敷地内にあり、内部公開期間については、要問合せ
問 ☎0952-23-2891

徒歩で約15分

通った藩校 弘道館跡 地図→P35 G-8

徒歩で約10分



龍造寺八幡神社（楠神社）

地図→P35 G-7

大木らが参加した義祭同盟の楠神社（写真）と記念碑がある。大木はその創立メンバーの一人だった。

住 佐賀市白山1-3-2
問 ☎0952-23-6049

徒歩で約20分



純粋社塾跡

地図→P35 F-8

勤王家石井龍右衛門が興した私塾で、大木の他大隈重信、副島種臣、江藤新平、中野方蔵らが学んでいた。

住 佐賀市伊勢町6-25

車で約40分



西往寺

地図→P34 D-3

大木家の菩提寺で、代々のお墓がずらりと並んでいる。大木の墓はその列中、山門から見て一番奥の左側。

住 神埼郡吉野ヶ里町大曲1539
問 ☎0952-52-1105

江藤新平

えとう しんぺい

「民権」を唱えた初代司法卿。正義を信じ、貫き通した悲運の士。



《人物像》
- 逆境をものともしない向上心
- 正義を信じた一本気
- 周りが見えない自己没頭派

民のために走り抜けた法律家人生

八戸村に佐賀藩士の江藤胤光の長男として生まれる。父胤光は佐賀藩士とはいえ、手明鑓（てあきやり）という下級武士で、日々の生活にも困窮するような家だった。

12歳の時に藩校弘道館に入学、人並みはずれた頭脳を持っていたが、学費が払えず進学もままならなかった。1850年に枝吉神陽により「義祭同盟」が結成されると参加、尊王思想などを学び、仲間と議論に明け暮れる。23歳で意見書「図海策」を書き、開国論を唱える。29歳の時に藩の方針に業を煮やし脱藩、京都に入り当時の世相をまとめるも、謹慎を命じられる。

大政奉還によって幕府が消滅すると謹慎を解かれ、郡目付として復帰。新政府が誕生すると京都に派遣される。江戸城が無血開城されると城内の文書類を接収し、当時の法令を読み解く。

そして明治5年、明治新政府において初代司法卿に就任。四民平等を説き、当時「民権」という概念がなかった時代に、民の権利を守り、誰でも公平な裁判ができるようにした。それはそれまで「お上」と言われていた役人すらも訴えられる画期的なものだった。また学制制度や警察制度整備、娼妓解放令などを進める。しかしその性急な改革が政府内の反感を買ったのも事実で、最後は佐賀の役に敗れ、鹿児島から高知への逃亡の末捕らえられ、まともな裁判もなしに処刑されてしまう。時代を達見した天才の早すぎる最期だった。

【概略年表】

数え齢			
1834	天保５年	1	2月9日、江藤胤光の長男として八戸村に誕生
1845	弘化２年	12	父に従って晴気村（小城町）に移る／弘道館に入学
1849	嘉永２年	16	弘道館内書生寮に寄宿／父が佐賀代官出仕となる
1856	安政３年	23	「図海策」を書き、開国論をとなえる
1862	文久２年	29	脱藩し京都に入り「京都見聞」をまとめる／謹慎を命じられる
1867	慶応３年	34	12月、閉門を許され郡目付となる／京都で活躍を始める
1868	明治元年	35	西郷隆盛と共に江戸城に入る／大木喬任と共に東京遷都を建白
1869	明治２年	36	佐嘉藩権大参事となり副島種臣と藩政改革
1870	明治３年	37	「国政改革案」など建議
1871	明治４年	38	文部大輔、左院副議長となる／廃藩置県を施行
1872	明治５年	39	司法卿となり法制公布施行に当たる
1873	明治６年	40	参議となる。征韓論に破れて、10月参議を辞任
1874	明治７年	41	佐賀の役。薩摩、土佐へ逃れ、土佐にて捕縛。4月13日没

【1889年（明治22年）賊名を解かれ、1916年（大正5年）正四位を贈られた】

あなたにとって江藤新平とは？

信念に散った、不器用な「政治家」



文化財保存佐賀県協議会 副会長
古賀 久人 さん

大久保利道がドイツ的な軍国主義を進めたのに対し、江藤はフランス的な人民主義、まず国民を裕福にしなければ、と考えていました。そんな高い人権意識、人の自発性を大事にする考え方が好きですね。もし江藤が生きていたら、後の戦争は起こらなかったのではないかとも思います。しかし、正しいと思ったことを貫き通す性格は「政治家」としては仇ともなり、結果佐賀の役で非業の死をとげてしまいます。近年では佐賀の役は士族反乱ではなかったとの研究もあり、今一度再評価してほしい人物です。

江藤新平を知る小説

「歳月」（上・下）（文庫版）



司法卿、江藤の生涯を綴った司馬遼太郎の名作。江藤の生涯と共に、その性格や人間性、また当時の明治政府の内状を知る上でも格好の一冊。他の佐賀賢人もいきいきと登場。

司馬遼太郎 著／講談社 刊
上下巻 各750円（税込）



▲カメラを睨み付けるような江藤の肖像写真（佐賀城本丸歴史館蔵）



▲司法省高官とともに。前列右から３人目が江藤（佐賀城本丸歴史館蔵）



▲1872年（明治5年）に江藤が司法卿に任命された時の辞令書（〔辞令〕江939-28、佐賀県立図書館蔵）



▲江藤が使用していた印章 上は「新平」、下は本名の「胤雄」（たねお）（佐賀城本丸歴史館蔵）

ちょっと損してる？無愛想写真の真実

おなじみの仏頂面の江藤の肖像写真。実は脱藩し、京都に行った時に撮られた、生涯一度の肖像写真。その表情にも訳があり、京都で世話になっていた桂小五郎や伊藤博文らに言われるままに着物を着せられ、言われるままに写真を撮っている自分に腹が立っていたからだとか。それ以来写真嫌いになった江藤は、ほとんど写真に写らなくなった。

女性観に影響？からたち小路の屈辱

まだ江藤が若い頃、佐賀藩には大晦日に、女性らが集まって、からたち小路を歩く藩士を担ぎ上げるなどして鬱憤を晴らすという慣習があった。その日、うっかりからたち小路を通った江藤だが、女性陣はそのみすぼらしい姿にたじろぎ近付いてこない。憤慨した江藤はその場で手にした「孟子」を大声で読み上げて立ち去った。江藤にとって、なんとも屈辱的な出来事だった。



からたち小路は現在の佐賀西高の南側通りだと考えられる▲

法の下には平等であれ尾去沢事件の追求

1871年大蔵省の井上馨は不当な証文で尾去沢鉱山を差し押さえ、それを私物化しようとした。銅山の持ち主だった鍵屋茂兵衛はこれを司法省に訴え、司法卿の江藤が追及、井上を逮捕できないまでも辞職に追い込んだ。同じ政治家相手でも追及の手は緩めない正義の人だったが、そのせいで薩長閥の恨みを買うことになってしまった。



▲江藤捕縛を報じた東京日日新聞の記事（早稲田大学図書館蔵）



▲佐賀の役で立てこもった佐賀城の門に残る弾痕の跡

その時、江藤は叫ぶ「裁判長、私は…！」

司法卿だった江藤は日本の裁判制度や、組織的な警察機構を整備。指名手配写真を導入したのも江藤だった。しかし佐賀の役で追われる立場になった時、その警察と手配写真のために捕まることとなり、整備したはずのまともな裁判は行われることなく、最後は司法省時代の部下の判決で、既に禁止されていた斬首刑に処されるという、あまりに皮肉かつ悲劇的な最期。江藤には発言の権限すら与えられなかった。

《毎年4月14日は銅像まつり》

江藤新平の銅像



佐賀の役で捕縛された江藤や島義勇が亡くなった4月13日には佐賀の役記念碑が建つ万部島で毎年慰霊祭が行われる。その翌日4月14日には神野公園の江藤像の前で銅像まつりが開催される。江藤や島ファンはこの2日間にはぜひ佐賀に足を運んでみては。

はみだし情報

佐賀の役で敗れ有明海を舟で南下する前夜、船着き場の村女たちが「途中でおなかがすいたらかわいそう」と江藤の「あめがた」であったことが江藤のご子孫の鈴木鶴子さんの現地調査でわかった。『江藤新平と明治維新』（鈴木鶴子著　朝日新聞社）は江藤ファン必読の書だ。

江藤新平足跡探訪コース【約2時間】（移動約80分＋観光散策約40分）

モデルコース　江藤が苦悩しながらも、育ち、学んだ佐賀の暮らしを知る



金福寺
地図→P34 A-1
脱藩した江藤が謹慎処分になっていた寺。天下国家の先を憂うも何もできず、悶々と過ごした江藤の日々を追体験。
住 佐賀市富士町大野916

車で約15分



実相院
地図→P34 B-3
江藤率いる征韓党が佐賀の役の際に本営とした寺。門前には佐賀の役の戦死者の慰霊碑があり、その悲哀が感じられる。
住 佐賀市大和町大字川上947
問 ☎0952-62-2652

車で約20分



江藤新平生誕地
地図→P35 E-8
長崎街道から少し入った所にある生家跡。今では場所を示す案内板のみ。近所の龍雲寺は小さい頃の遊び場だった。
住 佐賀市八戸2-5-14付近

車で約5分



本行寺
地図→P35 F-8
正門から入ると本堂手前の左側に江藤の墓がある。全国からの参拝客も多く、墓碑の副島種臣の字も見どころ。
住 佐賀市西田代1-4-6
問 ☎0952-24-1813

車で約5分

弘道館跡
地図→P35 G-8
通った藩校

龍造寺八幡神社
地図→P35 G-7
義祭同盟の地

徒歩で約10分

車で約25分



江藤新平乗船の地
地図→P34 B-5
江藤が佐賀の役からの脱出の際に、船に乗った乗船の地。政府から追われる身になった江藤の心情が偲ばれる。
住 佐賀市西与賀町大字高太郎2116付近

相良知安

さがら ちあん

捨て身の提案で大逆転。我が国へのドイツ医学導入の功績者。



Sagara Chian

《人物像》
- 自分に妥協を許さぬストイックさ
- 自らの功名心より医学の発展
- 妻子への深い愛情

立身より医学発展にかけた人生

薩医相良柳庵の三男として佐賀城下八戸村に生まれる。相良家は代々佐賀藩医の家系で、世襲制が当たり前だった当時、彼も医者の道を目指す事になる。

16歳で藩校弘道館に入学、19歳で洋学を学ぶ蘭学寮に進み、21歳で創設されたばかりの医学校に入学。また千葉の「佐倉順天堂塾」で医学を学び、長崎の「長崎養生所」ではオランダ人医師のボードインに師事。その優秀さからオランダへの留学を勧められるも断っている。

明治になると藩主鍋島直正の侍医として上京。新生日本の医学校創設を任される。当時の明治政府内ではイギリス医学を日本の規範に決めていた。しかし相良は、長崎にて収集した異人たちの情報を基に、ドイツ医学こそ世界最高水準と明治の元勲たちの前でもひるまず堂々と主張。99%決まっていた当時の方針を最終局面で覆した。

明治5年には第一大学区医学校（現東京大学医学部）の初代校長となり、さらに「医制略則」を起案。今日まで続く医学制度の基礎となっている。

しかしドイツ医学導入の件で一部藩閥の恨みを買ったせいか、後は重要なポストに就くこともなく、50歳の時には全ての官職を退く。

晩年は易者として、長屋で不遇の時代を過ごし、71歳でひっそりとその生涯を閉じることとなる。

【概略年表】数え齢

1836	天保7年	1	2月16日、佐賀城下八戸村に三男として誕生
1851	嘉永4年	16	藩校弘道館に入学する
1854	安政元年	19	蘭学寮入寮
1861	文久元年	26	江戸及び下総（千葉県）の佐倉「順天堂塾」で蘭学を学ぶ
1863	文久3年	28	長崎にてボードインに学ぶ
1865	慶応元年	30	長崎養生所を精得館と改め、館長となる／致遠館に入校
1867	慶応3年	32	好生館教導方差次となる
1869	明治2年	34	新政府の医学校取調御用掛仰付けられ、ドイツ医学導入決定
1872	明治5年	37	東校を第一大学区医学校と改め、校長となる
1873	明治6年	38	文部省医務局長兼築造局長となる
1874	明治7年	39	相良の草稿を基にした「医制76ヶ条」を長与専斉が公布
1875	明治8年	40	本官を免ぜられる
1885	明治18年	50	7月、文部省御用掛仰付けられる／12月、非職仰付けられる
1900	明治33年	65	勲五等に叙せられ、雙光旭日章を授けられる
1906	明治39年	71	6月12日、死去

あなたにとって相良知安とは？

信じるものを守り通した信念の人

直系子孫
相良 隆弘 さん



相良知安は私の5代前の先祖にあたります。頑固一徹で、周囲との協調性には欠けた部分もありますが、その性格が日本医学界の発展に大きく寄与したとも言えます。当時の日本はイギリス医学の導入が既に決まりかけていた頃。敵を作る事をいとわずドイツ医学の優秀性を説き、その導入にこぎ着けましたが、当の本人は失脚させられてしまいます。しかし自分の信じるものに決して妥協しなかった強い信念と潔さ、そして家族への愛情の深さには誇りを感じています。

相良知安を知る入門の一冊

「日本医家伝」（文庫本）

江戸から明治にかけて、日本の近代医学に大きく貢献した12人の伝記をまとめた本。相良はその一人で、ドイツ医学導入への経緯などが30ページに渡り詳しく語られている。

吉村昭 著／講談社 刊／660円（税込）





▲長崎にてボードインと相良ら門下生。中央で腕組みしているのが相良（「相良知安」所載）

相良が邁進したドイツ医学とは

相良がドイツ医学を推奨した理由として、当時日本に多かったオランダ医学書は大半がドイツ医学書の翻訳であったこと、当時ドイツ医学では基礎医学で破傷風菌、結核菌、淋菌、など世界的発見が相次ぎ発展していたこと、政府顧問だったフルベッキの勧めがあったこと、また日本とドイツは君主政体で新興国として国情・民族性に類似性があったことなどが挙げられる。我が国への導入以来、ドイツ医学を学んだ医学者の北里柴三郎博士、志賀潔博士、野口英世博士らが、細菌学や免疫学の基礎医学で世界的発見を成し遂げ、日本医学はわずか30年足らずで世界レベルに到達し発展した。ちなみにカルテ、クランケ、オペ、メスなどの用語もドイツ語由来。



▲「主意」（相939）独医学導入に関する相良自筆覚書（佐賀県立図書館蔵 ※複製資料）

グズグズしてられない世界まであと何年？

28歳の相良が長崎で医学を学んでいた時のこと。蘭医ボードインが「日本の医学は何年経てば、欧州諸国に追いつけるか」と生徒たちに質問。他の生徒たちが「100年かかる」「いや80年」などと答える中、相良だけは「14～5年後には追いつくでしょう。いや追いつかねばなりません」と熱弁。相良の医学にかける情熱はこの頃既に燃えたぎっていた。

佐賀と東京、二人の妻その二人が出会った時

相良は故郷佐賀に妻の多美と子供を残し上京し、以後37年間の東京生活。東京では定と言う女性と暮らしていた。いわゆる「権妻」。後年、相良が亡くなると、正妻タミは上京し、権妻の定と対面。正に修羅場…とはならず、定は天皇陛下より相良へ授られたお金と遺骨を多美へ手渡し、多美は苦労しながら相良を支えた定の手を握り、いつまでも二人で涙したという。



▲正妻のタミ（相良隆弘氏蔵）

人は見かけによらない貧乏長屋のあの人が?!

「医者」を捨て、易者として貧乏生活を続けていた相良に届いた吉報。近代医学制度創設に貢献した相良へ、勲五等双光旭日章が授与されたのだ。しかし貧乏で礼服も無い相良は、親友の石黒忠悳博士に代理を頼むことに。また亡くなった際には天皇陛下からの祭粢料が使者によって届けられた。同じ貧乏長屋の住人たちも、まさかそんなに偉い先生だったとは、さぞ驚いたことだろう。



▲相良に授られた勲五等双光旭日章（相良隆弘氏蔵）

幼なじみで似た者同士 江藤と相良の数奇な運命

相良と江藤新平は同じ八戸村の出身で子供の頃、共に遊んだ竹馬の友だった。この二人は、一度決めたら突き進む突破力や相手を論破する時の容赦のなさなどが似ている。それぞれ医学と司法の面で国の基盤を作り上げる偉大な功績をあげるが、わずか数年で離職せざるを得なかったことも共通している。

注目!

相良知安を知る!! 公式ホームページ

子孫である相良隆弘さんの手による、相良知安の情報をまとめたホームページが開設中！関連史料が見やすく整理され、その功績や生涯などが分かりやすく理解できる。



《http://sagarachian.jp》

《東京にも》

東大医学部に建つ記念碑

かつて校長を務めた東大医学部に建つ「相良知安先生記念碑」。長年人知れずひっそりと建っていたが、平成19年、附属病院玄関前の陽の当たる場所へ移転。改めてその功績が見直されている。

住 東京都文京区本郷7丁目3-1



▲建設当時の写真（相良隆弘氏蔵）

相良知安足跡探訪コース【約2時間】（移動約75分＋観光散策約45分）

モデルコース

相良が半生を過ごし、戻る事のなかった佐賀での軌跡をたどる



相良知安生誕地

地図→P35 E-8

長崎街道沿いで、現在はアパートの駐車場。小さい頃、江藤と一緒に遊んだ龍雲寺も近く、幼い二人はどんな姿だったのだろう。

住 佐賀市八戸1-4-19

徒歩で約30分



弘道館跡

地図→P35 G-8

相良や江藤が共に学んだ佐賀藩の藩校。明治政府で活躍した多くの偉人を輩出し、近代日本成立に大きな役割を果たした。

住 佐賀市松原2-5-22（徴古館横）
問 徴古館
☎0952-23-4200

徒歩で約5分



佐賀県立図書館

地図→P35 G-8

相良直筆の「医制略則」等、関連資料や文書などを多数保存。事前連絡すれば閲覧も可能で、本物の持つ息吹を感じられる。

住 佐賀市城内2-1-41
開 9:00～20:00
休 毎月最終水曜日、特別整理期間、年末年始
問 ☎0952-24-2900

徒歩で約10分



水ヶ江の屋敷跡

地図→P35 H-8

結婚した相良が妻子と共に暮らしたのは、大隈生家の西隣。妻子を残し上京した相良がこの家に再び戻ることはなかった。

住 佐賀市水ヶ江2-11-8

徒歩で約30分



城雲院

地図→P35 G-7

佐賀銀行本店南の小路を東に入るとある。境内にひっそりと建つ相良の墓に手を合わせ、その熱い生涯に思いを馳せよう。

住 佐賀市唐人2-7-5
問 ☎0952-26-7218

おおくま しげのぶ

大隈重信



明治・大正きっての傑物。育んだのは佐賀の風土と母の愛。

持って生まれた政治家資質

佐賀藩士の大隈信保・三井子夫妻の長男として生まれる。幼名八太郎。大隈家は石火矢頭人（砲術長）を務める上士、いわゆるエリートの家柄であり、幼き八太郎もそんな父の背中を見て育った。

7歳で藩校「弘道館」に入学、優秀な成績を修めるも、鍋島家の武士道の倫理書「葉隠」に裏打ちされた朱子学など、漢学を中心とした閉鎖的な教育に反発、南北寮の大喧嘩の首謀者と目され、18歳で館を離れた。その後は蘭学寮へ入学し洋学を学ぶ傍ら、義祭同盟で尊王思想を学び、大政奉還を進めるために副島種臣と共に脱藩して京に向かうなど、志士活動を行う。

明治新政府では外国事務局判事に任じられると、キリスト教徒の処分問題でイギリス公使パークスと激しい舌戦を繰り広げ、明治政府にこの人ありと認められるようになる。その後は大蔵卿、外務大臣、農商務大臣などを歴任し、グレゴリオ暦の導入、鉄道の敷設、貨幣制度の整備、東京専門学校（後の早稲田大学）の開校など、今日に残る様々な功績を残している。

そして1898年、板垣退助と共に隈板内閣を組閣、総理大臣になる。これは日本初の政党内閣と言われている。この内閣は半年程度で解散になるが、1914年には再び総理大臣に就任、2年後に79歳で解散となるが、これは総理大臣としては今日にいたるまで最高齢である。

【概略年表】

		数え齢	
1838	天保９年	1	2月16日、大隈信保の長男として佐賀城下会所小路に誕生
1844	弘化元年	7	藩校弘道館の外生寮に入る
1850	嘉永３年	13	父、信保が亡くなる
1854	安政元年	17	義祭同盟に加わる
1855	安政２年	18	弘道館で南北騒動が起こり、首謀者として退学させられる
1856	安政３年	19	蘭学寮に入る／枝吉神陽に国学を学ぶ
1861	文久元年	24	蘭学寮と弘道館合併、教授に／鍋島直正にオランダ憲法を進講
1865	慶応元年	28	長崎に、英学塾「致遠館」を設立、フルベッキより英語を学ぶ
1867	慶応３年	30	大政奉還を進めるため、副島種臣とともに脱藩して京都へ
1868	明治元年	31	イギリス公使パークスに対する論客として起用され大激論
1881	明治14年	44	天皇の東北巡幸にお供する／政変によって参議を辞任
1882	明治15年	45	立憲改進党を結成し総理となる／東京専門学校を開校
1888	明治21年	51	外務大臣となる
1889	明治22年	52	来島恒喜に爆弾を投げられて負傷し、右脚を切断する
1898	明治31年	61	憲政党を結成、第1次大隈内閣をつくる／11月内閣解散
1914	大正３年	77	第2次大隈内閣を組織する（首相兼内相）
1922	大正11年	85	1月10日死去、1月17日、日比谷で盛大な国民葬が行われる

あなたにとって大隈重信とは？

誰からも愛された大衆政治家

元 大隈記念館 館長
古賀 雄三 さん



大隈重信は政治家として、教育者として、常に民衆とともにあり、信念の人でした。明治の初期、日本の近代化の為に色々な改革を行いますが、彼は「日本のため国民のために正しいことをしているのだから、必ず周りの人も分かってくれるはずだ」との信念の下、事前の根回し等をしませんでした。その結果として失敗も多かったと言われています。そんな不器用さも大衆政治家としての人気の秘密かも知れません。彼の国民葬では150万人もの人から見送られ、その人気の高さが窺えます。

大隈重信を知る入門の一冊

「大隈重信」（西日本人物誌18）

数多い大隈の伝記の中でも語られることの少ない佐賀時代のいきいきとしたエピソードが満載で、後に傑物と言われた大隈の原点を知ることができる一冊。

大園隆二郎 著／西日本新聞社 刊
1575円（税込）



Ohkuma Shigenobu

《人物像》
- 全てを受け止める深い懐
- 討論では負けない雄弁家
- 要領良く、したたか

これぞ母の愛デア 勉強部屋の工夫とは？

12歳の時に父を亡くした大隈は、母親の愛を一身に受けて育つ。そんな大隈のために、母三井子が生家の二階に増築した勉強部屋には数々のアイデアが。部屋を明るくするため、大きな窓を設けつつも、気が散らないように、外が見えない高さに設計。また勉強机の前には大きな梁のでっぱりが。実はこれ、勉強中に居眠りするとここに頭がぶつかり、目が覚める、ちょっと乱暴な仕掛け。そんな母の期待に応え、大隈は藩校、弘道館で優秀な成績を修めることになる。



▲当時のまま残る大隈の勉強部屋。GWなどに公開。

南北分かれての大論戦 退学になったその理由

大隈が学んだ藩校弘道館では、儒教教育が中心で、一方で「葉隠」も密かに読み継がれていた。大隈はそんな旧態依然とした教育に反発、改革を唱え大論戦。やがて南北の寮に分かれての殴り合いの喧嘩となり、首謀者として大隈は弘道館を退学処分になってしまった。しばらくして復学を許されるも、大隈はその頃開設された蘭学寮に進み、退学のおかげで望んでいた洋学を学べるようになる。人生何が幸いするか分からない。



▲弘道館時代に使用していた教科書（大隈記念館蔵）



▲幼い頃の大隈が母に連れられて登った高伝寺の八太郎槙

その右足は義足だった 失われた脚の行方

1889年、当時外務大臣の大隈は過激運動家に爆弾を投げつけられ、右足を切断する大怪我を負った。以降、義足で過ごすこととなり、その義足は早稲田大学や大隈記念館などに残されているが、実は義足だけでなく、この事故で失われた本物の右足も残されているのだ。最初はアルコール漬けにして大隈邸に置かれていたが、維持費がかかるため日本赤十字看護大学に譲られ、さらに近年、里帰りを果たし、現在は大隈家の菩提寺にあるとのこと。

スイーツ大好き大隈侯 東京出張した故郷の味

佐賀を通る長崎街道はシュガーロードも呼ばれ、様々な菓子文化が華開いた所。そんな中でも大隈の大好物だったのが佐賀銘菓、丸ぼうろ。明治29年の帰郷の際に惚れ込んだのだとか。東京でこの故郷の味を懐かしんでいると聞いた菓子屋「鶴屋」の主人は職人を連れて上京、東京の大隈邸内に窯を築いて、丸ぼうろをふるまった。佐賀から東京、何とも贅沢なデリバリーサービスだ。



▲佐賀を代表する銘菓「丸ぼうろ」



▲30歳頃、和服帯刀姿の大隈（早稲田大学図書館蔵）



▲若き日の大隈（右端）

《ちょっと足を延ばして》

致遠館跡（長崎）

大隈が長崎に設立し、オランダ人宣教師フルベッキが教鞭を取った英語学校。佐賀藩士だけでなく多くの若者が学び、新時代に羽ばたいて行った。

住 長崎市五島町



はみだし情報

明治の偉人の多くは写真で姿を見ることしかできないが、大隈は演説を吹き込んだレコードが残されており、今でもその肉声を聞くことができる。

大隈重信足跡探訪コース【約3時間】（移動約100分＋観光散策約80分）

モデルコース　母と共に幼き大隈を育てた佐賀の生活を追体験する



大隈記念館・生家

地図→P35 H-8

大隈の生涯を知る記念館と、武家屋敷の面影を残す生家。維新の傑物の誕生地を踏み締め大隈巡りスタート。

住 佐賀市水ヶ江2-11-11
開 9:00～17:00
休 12/29～1/3
料 大人300円 小学生以下150円
問 ☎0952-23-2891

徒歩で約15分



旧古賀家住宅

地図→P35 H-7

旧古賀銀行の創立者、古賀善平の居宅。大隈も帰佐の際には、度々宿泊した。大隈気分でごろんとくつろぐのも一興。

住 佐賀市柳町3-15 開 9:00～17:00
休 月曜（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土日を除く）、年末年始
料 見学無料（企画展を除く）
問 佐賀市歴史民俗館 ☎0952-22-6849

徒歩で約15分

義祭同盟の地 **龍造寺八幡神社** 地図→P35 G-7

徒歩で約10分

通った藩校 **弘道館跡** 地図→P35 G-8

徒歩で約20分



龍泰寺

地図→P35 G-8

大隈家の菩提寺。大隈の墓参りで威徳を偲びつつ、受験・学問の大願成就を祈願してみるのもいい。

住 佐賀市赤松町2-4
問 ☎0952-23-7247

徒歩で約10分



鶴屋菓子舗

地図→P35 F-8

大隈の大好物、丸ぼうろの老舗。古文書から製法を割り出した幻の菓子「肥前ケシアド」など、お土産にも最適。

住 佐賀市西魚町1
開 9:00～19:00
休 元日
問 ☎0952-22-2314

徒歩で約30分



高伝寺

地図→P35 F-9

鍋島、龍造寺家の菩提寺。境内には幼い大隈が登って身体を鍛えた「八太郎槙」の木がある。

住 佐賀市本庄町大字本庄1112-1
開 9:00～20:00
料 300円
問 ☎0952-23-6486

特別編集

幕末・維新の9賢人 愛憎どろどろ(!?)相関図

0＝最年長である鍋島直正を基準にした年齢差（例：直正が30才の時、佐野は-8で22歳）

佐賀藩から日本の中央政界に飛び立ち、近代国家の礎作りをした９人。
彼らは幼少時から青年期を経て、やがて日本を動かす重要人物になっても、
様々な局面で相互に助け合ったり、時には信念を貫き反発せざるを得なかった。
歴史上有名な関係から、意外なつながりまで、ダイジェストにご紹介。

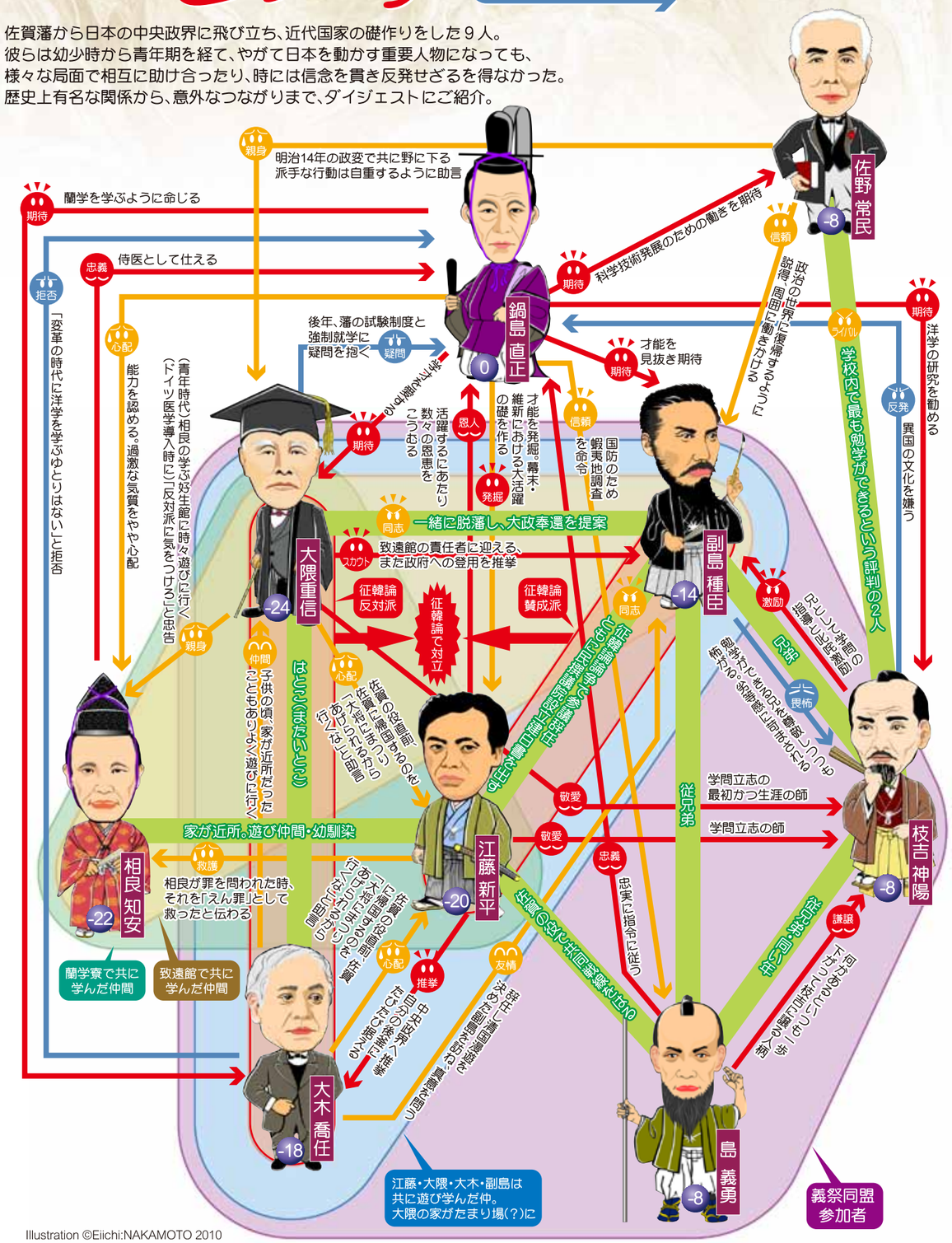


Illustration ©Eiichi:NAKAMOTO 2010

12賢人に一歩近付ける？

幕末・維新の賢人 グルメ&グッズ

幕末・維新の賢人たちにちなんだグルメ&グッズが続々登場！
見て、食べて、触れて、賢人の息吹を感じてみては？

※掲載されている情報は2013年12月現在のものです。
情報、料金、時間等は変更されている場合もございますので、事前にご確認ください。



賢人にまつわるエピソード料理やデザートがぎゅぎゅっと詰まった

義祭弁当

義祭同盟参加者に鍋島直正、佐野常民を加えた「８賢人」にゆかりのある惣菜を集めて幕の内弁当に。人気商品なので、前日に予約の電話をしておけば確実。

価格：1000円（お茶付）
製造・販売・お問い合わせ：林檎亭
電話：0952-23-2788
販売所：林檎亭（佐賀市中の小路3-1）地図→P35 中心部拡大図



たとえば大木喬任。子供の頃食卓に出ると、どんぶりいっぱいたいらげた好物の「茄子の煮物」(右上)。



※デザインは変更になる場合があります。

専攻学部・お仕事ごとにゲットしてもよし！受験や勉学のお守り代わりに

佐賀12賢人バッジ

一枚一枚が「学部別・専攻別」の受験や勉強のお守り代わりになっている！
あなたの目標に合わせて買うも良し、12人一気に揃えるも良し。

価格：1個100円／販売：佐賀市観光協会／電話：0952-20-2200
販売所：佐賀市観光交流プラザ、佐賀市観光案内所、佐賀県産業振興会館、佐賀城本丸歴史館、佐野常民記念館、大隈記念館、肥前通仙亭、など。
※郵送も受け付けております（送料はお客様ご負担です）。

個性派揃いの8人がお待ちしています

幕末・維新 佐賀の八賢人 おもてなし隊

佐賀の8人の賢人の業績と佐賀の歴史と誇りを笑いと涙で伝える演劇ユニット。
毎週日曜日、佐賀城本丸歴史館で一日5回の無料寸劇を週替わりの演目で上演中。
2012年9月より始めて観客は37000人を突破。満足率97%と大好評です。
お問い合わせ・電話：0952-29-0088（魅力発掘プロデュース協会）



12賢人の足跡を巡る。コースマップ

江藤 START
売茶翁 START
茂安 START
佐野 START
徐福 START
大隈 START
大木 START
鍋島 START
副島 START
枝吉 START
島 START
相良 START

江藤① 金福寺
江藤② 実相院
江藤③ 古湯温泉
江藤④ 大野代官所跡
江藤⑤ 下無津呂
江藤⑥ 21世紀県民の森
江藤⑦ 江藤新平乗船の地

売茶翁① 霊仙寺跡の茶園
売茶翁② 龍津寺
売茶翁③ 大興寺
売茶翁④ 佛心寺
売茶翁⑤ 神野公園の「噸林亭」

茂安① 成富兵庫茂安公誕生之地
茂安② 石井樋公園・さが水ものがたり館
茂安③ 築山公園
茂安④ 葉隠発祥の地
茂安⑤ 金立神社（上宮）
茂安⑥ 小城PA
茂安⑦ 来迎寺

佐野① 佐野常民生誕地
佐野② 佐野常民記念館
佐野③ 三重津海軍所跡
佐野④ 徐福長寿館
佐野⑤ 東与賀支所

徐福① 徐福上陸地
徐福② 新北神社
徐福③ お辰観音
徐福④ 徐福長寿館
徐福⑤ 金立神社（上宮）
徐福⑥ 大和中央公園 花しょうぶ園
徐福⑦ 佐賀大和支所

大隈① 大隈記念館・生家
大隈② 旧古賀家住宅
大隈③ 鶴屋孝子舗
大隈④ 水ケ江の屋敷跡
大隈⑤ 龍泰寺
大隈⑥ 高伝寺
大隈⑦ 佐賀城本丸歴史館

大木① 大木公園
大木② 大隈重信生家
大木③ 城幹社誕生地
大木④ 乗地反射炉跡
大木⑤ 城幹社誕生地
大木⑥ 西往寺

鍋島① 佐賀城本丸歴史館
鍋島② 佐嘉神社
鍋島③ 徴古館
鍋島④ 万部島
鍋島⑤ 城島城

副島① 副島種臣生誕地
副島② 佐賀県立美術館
副島③ 納富神社
副島④ 佐賀県立図書館
副島⑤ 賢学館

枝吉① 枝吉神陽誕生地
枝吉② 玉林院
枝吉③ 梅林寺
枝吉④ 梅林寺
枝吉⑤ 枝吉神陽誕生地

島① 島義勇誕生地
島② 玉林院
島③ 南国十三烈士の碑
島④ 万部島
島⑤ 賢学館
島⑥ 鶴屋孝子舗
島⑦ 江藤新平生誕地

相良① 相良知安生誕地
相良② 実相院より
相良③ 江藤新平生誕地
相良④ 梅林寺
相良⑤ 高伝寺
相良⑥ 高伝寺
相良⑦ 江藤新平乗船の地へ

P34 大木⑥ 西往寺へ
P34 鍋島④ 佛心寺へ
P34 茂安④ 葉隠発祥の地より
P34 鍋島⑦ 来迎寺へ
P34 鍋島⑤ 大興寺へ
P34 売茶翁② 龍津寺より
P34 佐野③ 三重津海軍所跡より
P34 大隈⑥ 西往寺へ
P34 鍋島② 実相院より
P34 江藤⑦ 江藤新平乗船の地へ

佐賀市観光案内所
佐賀市観光交流プラザ（エスプラッツ2F）
【観光のお問合せは】
佐賀市観光案内所へ
（JR佐賀駅改札出て右）
・便利なレンタサイクル（1日500円）
・市内のグルメ情報
・賢人バッジなどお土産販売
・宿泊施設、イベント情報など
電話：0952-23-3975
営業：8:30～18:00（土祝17:00まで）
定休：年末年始（12/31～1/3）

中心部拡大図
龍造寺八幡神社
佐賀駅 徒歩約15分
約600m 徒歩約10分
弘道館跡
白山アーケード
松原川
シンボルロード
城北濠
佐賀県立図書館
佐賀県庁
県庁通り
西古賀街
公園
太平社
旅あ留ばはの
佐賀城本丸歴史館
佐賀県立美術館
佐賀県立博物館
佐賀城跡
佐賀市立図書館
手屋本館
手屋座館
駐車場
駐輪場
緑地
白山交差点

佐賀大和IC
小城PA
佐賀市大和支所
大和中央公園 花しょうぶ園
ホテルアンビ
マックスバリュ
ホテル龍登園
川上峡温泉
与止日女神社
十可苑
金比羅神社
金立SA
白鬚神社
東脊振IC
長崎自動車道
神埼市
佐賀市大和町
佐賀市
小城市
佐賀市諸富町
佐賀市久保田町
佐賀市東与賀町
佐賀市川副町
福岡県大川市
至 佐賀空港
至 唐津
至 鳥栖
至 武雄
至 長崎
至 福岡
佐賀大学
佐賀県庁
佐賀市文化会館
佐賀市大和支所
佐賀市諸富支所
佐賀市久保田支所
佐賀市川副支所
佐賀インターナショナルバルーンフェスタ会場
グラスコート佐賀テニスクラブ
千代田館
たつみ旅館
佐賀大学医学部
佐賀県立博物館
佐賀県立美術館
佐賀県立図書館
佐賀県庁
佐賀市役所
佐賀城跡
佐賀城本丸歴史館
佐賀県立博物館
佐賀県立美術館
佐賀県立図書館
佐賀駅
佐賀駅バスセンター
佐賀駅北口
佐賀駅南口
佐賀市観光案内所
佐賀市観光交流プラザ（エスプラッツ2F）
ホテルニューオータニ佐賀
ホテルマイステイズ佐賀駅前
ホテルニューオータニ佐賀
ホテルサンシティ2号館
ホテルサンシティ1号館
ホテルサンシティ
ホテルイースト21
ホテルグリーンオーク佐賀駅前
ホテルリブマックス佐賀駅前
ホテルリブマックス佐賀駅前プレミア
ホテルリブマックス佐賀駅前本館
ホテルリブマックス佐賀駅前別館
ホテルリブマックス佐賀駅前新館